京城日報

定價 本紙…… 廣告料金 …… 發行兼編輯人 與田直 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 ……

五月十七日夕刊（朝刊併せて八頁）

◇國境封鎖斷行 オムスク政府も同意

國境封鎖斷行の意見は有力となり浦鹽商業會議所にては過般必要品を除く一切の外國貨物の輸入を禁止し國境を封鎖することを政府に建言するに決せりオムスク政府に於ても該案に同意せるもの、如く近く軍需品及必要品以外の輸入を禁ずる旨法令を以て發布さるべしと觀測せられつゝあり（浦鹽電報）

◇戰時通商局發表 染料金製品輸出入證

米國戰時通商局は發表して曰く今後ポッタシム染料或は染料用品（染色原料を含む）は其何れより船積みさるゝを問はず其輸入には各個輸入證を要す同局は又發表して曰く金製品にして其含有純金全價格の六割五分を超過せざるものは各個輸出證を要せず（華盛頓電報）

◇支那政界紛糾惹起か

講和條約に對する調印不調印の問題は政界の紛糾を惹起せずんば止まざるべし（北京電報）

◇錢內閣愈々留任

錢內閣は愈々留任に決定したるも外交問題の經過如何に依りては再び動搖するやも知れず（東京電報）

◇本鄕大將著發 特命檢閱使本鄕房太郎大將は十六日午前九時三十分列車にて着關直ちに渡門久留米へ向へり（下關電報）

◇椎尾辨匡師通過 宗教大學教授文學博士椎尾辨匡師は京城淨土宗開教院記念法要其他の用務を帶び十七日午前釜山上陸十時急行列車にて北行せり（釜山特電）

◇長岡商議視察團 長岡商業會議所の鮮滿北支那方面視察團一行十一名は十六日午前大連より來奉、北陵宮殿其他市中の視察を爲し同夜松鶴軒の歡迎會に臨み十七日朝京奉線にて天津に向ひたり（奉天特電）

◎講和會議と通信（一）

三月廿五日在巴里 本社特約員 上田碩三

劈頭の新聞問題

◎巴里講和大會議の開會に當つて之れを新聞通信員に開放するや否やの問題は先づ劈頭天下の大問題こして倫敦タイムスを首め筆を極めて論議した、一時は非開放主義に傾くやの形勢も見ねたが世界の粹を蒐めた、巴里講和特派の列國通信員が何條オメ〳〵こ之れを默過せんや、英、米、佛の新聞紙は勿論其の他の諸國の新聞紙も筆を揃へて其の非を鳴らし遂に問題は講和會議そのものよりも更に大なる事件かの樣に取り扱はれた、結局問題は容易に新聞記者側の勝利となり議場狹隘のため二十名を限り入場させる事として問題は結着した、其精神は固より該會議をして世界國民の膝より閉塞せんとするのではなく只議場の混雜を防ぎ又動ともすれば事件の進行に就て多少の障碍を感じたためで恐らく非民主主義者の觀念は之れを從來の講和會議の如く其內容は全然會商者雙方の合意を以て成る所謂公報を以て之を發表せんとしたのである、而も今度の講和會議は從來のそれとは全然其の趣を異にし會商するものは單に敵味方の二國代表にあらずして實に總計三十二國代表の多きに達し、況んや其議する所の問題は獨り講和に限られず世界の將來に關し、人類の發達に關し苟くも人類たるもの、齊しく發言の權利を有する大問題なるに於てをや、米國大統領ウイルソン氏は屢〻會議の席上呼號して曰く『今次の會議は我等政府當局者の會議にあらず普く民衆の會議である、若し本會議にして我等政府當局者のみの會議に終らば本會議の結果は到底空しき失敗である』と然し巴里大會議は政府代表者の私するを許さない、限りある個人の頭腦を以て國民全體の運命に係る大事に對し兎角の獨斷を許さない、斯の敵國に暴露して不利なるの顧慮なき限り又些々たる事にして其發表が徒らに外交の懸引に支障を生ずるの虞れある場合は兎も角苟くも其國民の運命に關し國家の將來に關する者は其主義方針を國民と共に呼號し共に爭ふ可きは爭ひ屈すべきは屈せねばならぬ或は政權擁護のため或は更に卑陋なる憐むに堪へたる自己の地位を保護するため徒らに秘密を事とし以て國民の聲を袴ぐに汲々たるが如きは寔に沙汰の限りにして歐米政治家の夙くに悟つた所である

◎却說右の次第を以て一月十八日午後三時を以て佛國外務省の一角「時計の間」に於て開かれたる巴里大會議の開會式には定められたる二十八の外殆ど制限なく入場した豫め一定の入場證は發行されて居たが其日になると必ずしもそれが絕對の入場證ではなくて新聞記者たるの適當なる他の證明書で入場が出來た、爾來今日に至るまで各國代表委員全會議の開會を見ると三回であるが新聞通信記者である以上入場全く自由で會議の公開は名實共に完全に實行されて居る。

◎納稅成績良好

騷擾の爲多少の杞憂を抱きし各地の納稅は一般に良好の成績を收めつゝあるが今咸鏡南道に於ける最近の成績を見るに四月徵收の稅目は市街地稅、同附加稅、酒稅、戶稅、家屋稅の各種にして納付は戶稅の九分九厘を除く外全部完納の好成績を示し徵收上に於ても差たる困難を感ぜざりしが如し因に本年度戶稅家屋稅は制度の改正に依り五月を收期とせる道多く從つて之が徵收を開始せざるものあるも各道に共通せる市街地稅、同附加稅、酒稅の如き共に徵收比較的容易にして多數の騷擾參加者を出したる地方を除く外凡て完納又は完納に近き成績を收め居れり

◎火災保險料率協定 實施期近し

朝鮮に於ける火災保險協定料率の近く實施さるべきは既報の通りなるが右協定に關する草案は既に上稿し內外聯合協會の決議に附し實施期を確定さるべき運びに至り居るが之が實施期日は早越契約等を防止する爲嚴秘せられ居るが如し而して鮮內に於ける料率協定の要は從來屢々論議せられたるも外國保險會社の支店出張所代理店等が各本國に打合せする爲遷延したるものにて內地に於ては既に昨年九月より協定料率を實施せる結果二三流の會社が一流會社と共に同一料率に出づるは結果如何を氣遣はれたるも却つて各社とも良好なる成績を擧げつゝあり尙朝鮮に之を實施するせば違反者に對する制裁監督に內地に於ける地方會の如き機關を設くる事となるべし

◎東拓社債 發行計畫中

東洋拓殖會社に於ては事業の各方面に進展する結果資金急需の必要あり目下幹部間に於てその調達方法に就き考慮中なるが然も結局（一）未拂込金の徵收（二）社債發行の二途に出づる外なく株主間には新株拂込の希望を有する者多く又未拂込額は七百五十萬圓を剩し居れど會社にては未拂込徵收よりも寧ろ社債を發行して金融の緩急を稽へ社債を發行して資金を得んとするに非ずやと同社にては最近借券一千萬圓の發行を政府より認可を受け居れりと

◎陰乍ら朝鮮の爲に

貴紙の『滿鐵事業分離說』は確に精讀した上運賃値上と石炭問題は中西氏來鮮の節說明されては如何

關東廳事務總長 杉山四五郎氏談

關東廳事務總長杉山四五郎氏は家族同伴十七日朝南大門驛を通過せるが其車中談に曰く

貴紙十六日夕刊所載滿鐵の事業分離に關する記事は熟讀したが滿鐵本來の業務は鐵道經營に在るのであるから鞍山站製鐵所や撫順炭礦の如きは獨立しても差支のないものは獨立さしてもよからうと思ふ併し自分は未だ是等に就て何等期する所がないから今何とも▲意見を發表 する事は出來ぬ。滿鐵貨物運賃値上げに就いては區々の議論あり各地に於て反對熱が盛んであるが滿鐵當途の改正上から見れば已むを得ぬとであらう、何事に限らず民間側で餘り反對すると反つて其主張を容れることが出來なくなる樣な事が往々あるので、自分は會社と民間の間に立ち反對者側慰撫に努めた結果、民間側では十五日會合し代表者一二人を選拔して意見を開陳することになつたやうである。朝鮮の石炭問題も朝鮮の工業發展上非常に影響の有ることと察して居るが中西副社長も來任し且近く朝鮮に來るさうであるから其節▲朝鮮の事情 を具體的に說明して妥協を講じたらよからうと思ふ。自分も朝鮮の爲に陰ながら出來るだけ助勢したいと考へて居る。滿洲に於ける朝鮮人は比較的不良の徒輩が多いと云ふ事であるし其誘導と取締には隨分骨の折れる事と思ふ之に就いては多少の意見を持つて居るが未だ發表の時機でない今少し時が經つたら相當の施設を加へたいと思ふ。大連は近來非常の好景氣で市中目拔きの場所は坪七八百圓から一千圓と呼ぶ樣になつて來て宅地拂底に苦しむ種々の運動さへ起つて居るが之に引替旅順は▲非常に衰微 し夜の八時過になると街頭行人の影を見ずこいふ有樣である其の懸隔の差が甚だしく此の間を連絡する汽車も日に四回に過ぎないが二百萬圓も投ずればモ少し頻繁に往復させ隨つて多少の均衡を保つとが出來るだらうと思ふので目下考慮中である

◎朝鮮電興進捗

朝鮮電氣興業株式會社にては社務の進行上馬越社長並に取締役と協議を要し且つ東京にて披露宴を擧ぐるため風間專務は數日前平壤より直路東上し米山專務伊東支配人は十七日朝京城同夜若くば十八日朝東上の豫定なるが月末までには朝鮮に於ける各種の進行を圖るべし尙ほ同社製煉炭は明年に入らざれば市場に出ずとの說あり八九月までにはその製品を出だす豫定なりと又倉庫社宅その他の建築炭山作業にも既に着手したりと

◎洋紙界前途 大勢は先安

山田小倉製紙支配人の談

目下來城中の小倉製紙株式會社支配人山田伊三郎氏は語る

余は先年より朝鮮に於ける教科書用紙を納入し居る關係上販路視察旁々來鮮したるものなるが現下內地に於ける▲製紙界の牛耳 を乘れるは王子製紙、富士製紙の兩大會社にて其他四日市、中央、木曾、九州の諸會社も相當成績を收めつゝあり戰時中紙價暴騰時代の利益を利用して益々事業擴張を圖り居れるも近年製紙原料たる礦稷の不足を訴へ今日にては十分の七迄は殆んどパルプを原料としつゝある有樣なりパルプを原料とするは礦稷に比し手數に於て非常に簡易なるも精製後の紙質は礦稷に及ばずパルプは目下樺太、北海道等に於て王子製紙パルプ工場、日本化學、樺太工業の各會社が全力を注ぎて製出しつゝあれど未だ自給自足の域に達せず▲瑞典、加奈太 等より輸入を仰ぎ居れる現狀にあり今回新義州にて計畫されたる鴨綠江材を原料とする大規模の製紙會社も主にパルプ製出を目的とする由なれば此の製品が內地市場に多數現はるゝ事となれば近き將來に於て輸入を防遏する事至難には非ざるべし紙價としては東京市場に於て開かれたる全國洋紙問屋組合大會にて約一割方の引下げを協定したる以來米國既荷品の輸入を見越して投げ賣りしたる爲め一時非常に暴落したるも內地の會社側は戰時中の利益を擁し居るを以て手持品は豐富なれど焦急がず▲各社共持堪へ 居れり將來外國品の輸入增加せば戰時中の利得を吐出しても放賣せざる可らざる事となるやも測られず然れども事實今日の生產費は戰前の倍額を要しパルプの如き戰前一磅四錢二三厘の物今尙十六七錢を唱へ製紙用金網は戰前四百圓の物戰時中の約定値千二百圓にて今日漸く到着し居り加ふるに石炭の昂騰勞銀引下不能等一として騰材料なく日用紙に用ふる苛性曹達が三十八圓に騰貴し居たるも今日九圓に下落したのみなるを以て遽に紙價の暴落を期待する事は難かるべく目下の如く支那、南洋、印度方面よりの▲注文先安 を見越して殆んど杜絕し印刷紙の如き政府の方針として輸出を禁止され居り製品は日に澀滯となりつゝあれば來る二十日大阪に於ける洋紙業者聯合大會に或は再び値下問題の議せらるゝ事となるやも知れず

◎電報平調に復す

不通中なりし佐世保大連間の海底電信線は十六日午後八時頃全通し直に十六日午後九時より滿洲方面に切り替へたる爲京城以下の關係線も復舊し連日滯積しみたる電報も漸次著電し平常の狀態に歸したり

◎京城專修學校近況

吾孫子校長談

騷擾も漸く靜穩に歸したので既に授業を開始して居る學校もあるが▲開始後の成績 は何れも良好の樣である本校も來月二日より授業を開始し引續き第一二學年の試驗を行ふ事とし夫々生徒及び父兄に通知を發した生徒の中には前々より授業の開始期を問合せ來る者少からざる上地方に在る父兄の危惧も殆んど無くなつたから授業開始と共に生徒大多數の出席を見る事と思ふ登校しない生徒は事情を取調べた上理由なき者は遺憾ながら相當處分をする考へである▲先月以來卒業 試驗を施行して居た、第三學年の生徒も始めの間多少受驗を躊躇する模樣であつたが追々に非を悟り本月十日迄に四十五名中目下收監されて居る三名と一名の不參者を除き四十一名は無事に卒業することを得た、卒業生は總て學校で就職の世話をする樣にして居る、本年卒業生の希望は官廳方面と實業方面とが相半し裁判所に十六名、道府郡廳に四名、警察官署に一名、朝鮮銀行に六名、殖產銀行に七名、其他の銀行會社に七名の希望者があり、現に就職濟の者十餘名ある其の他も夫々推薦中であるから遠からず全部の就職を見る事と思ふ、本年度新入學生の▲募集豫定數 は五十名であるが例年病氣其他の事由にて實際の入學者に多少の減少を免れざる故六十一名を入學せしむる事にした、內五十五名は高等普通學校の卒業生で其他は入學試驗に依り一般から募集した者である、入學式は來る六月六日に擧行する事に夫々通知を發した。

◎專用輕鐵開始

既報三菱經營に係る黃海道載寧郡銀山面に於ける專用輕鐵の一般運輸營業開始の件は十六日附認可ありたるが同會社は來る二十日より營業を開始すべしと

◎道參事任命

慶尙南道參事一名缺員中の處五月一日附を以て孫之鉉任命せられたり

◎大阪滿鮮組合長

今回大阪滿鮮貿易同業組合にては役員任期滿了改選の結果組合長は伊藤作助氏辭任し後任に栗谷喜八氏當選せり

◎滿鐵正副社長

滿鐵社長野村龍太郎、副社長中西清一の兩氏は此程任地に着任せるが各方面の挨拶を終り次第來月中旬朝鮮經由一先東京に赴くべしと

◎支那總領事歸國

在京城中華民國總領事富士英氏は病氣療養の爲め賜暇夫人同伴近日京城出發本國へ歸還すべきに付十六日午後總督府に長谷川總督並に山縣政務總監其他を訪問し暇乞ひの挨拶を爲したり

◎トロント頭取一行

カナディアン、バンク、オブ、コンマース頭取にしてトロント大學總長並に博物館長を兼ねたるサー・ウオーカー氏は同氏令嬢並にバンクーバー支店長ホルト氏及びその令嬢外國部長ローン秘書役キャンベル氏夫妻と同行東洋方面との金融連絡を附する爲め來朝中なるが十八日朝釜山上陸同日午後七時五十分南大門驛着入城朝鮮ホテルに投じ二十日午後十一時南大門驛發北行の事に決定せしが此は五十年來同銀行の老紳士にて加奈陀實業界の巨星たり朝鮮銀行にては星野司事釜山まで東道の爲め出迎へたり

◎木村理事外遊

朝鮮銀行理事內地支配人木村雄次氏は同行理事細貝五十吉氏と同六月九日橫濱出帆の便船にて戰後の歐米列強に於ける經濟狀況視察の途に就く事に決定せしが理事は一兩日中東京出發來鮮兩三泊の上大連より歸東の上出發の豫定なり尙外遊期日は確定し居らざるも七八月頃の見當ならん

人事消息

▲淺岡一賓氏（東拓奉天支店長）十七日午後十一時南大門驛發列車にて赴任
▲三島殖銀頭取一行 十七日木浦より光州に向ふ（木浦特電）
▲飯泉幹太氏（鮮銀秘書役長）十九日頃往復約一週間の豫定にて東上の筈
▲人見次郎氏（鐵道局長）二十日頃東上するとの事なりしも右は誤れり
▲胡城氏（鎭南浦支那領事）十七日朝入城朝鮮ホテルへ
▲佐藤潤象氏（朝鮮輕鐵專務）十七日釜山より歸邱（釜山特電）
▲岡村滿鐵釜山派出所主任 鐵道院管理改正の結果門司管理局と事務打合の爲め出張中なりし氏は十七日朝歸任（釜山特電）
▲中島司氏（殖銀調査役）家族出迎への爲め十六日夜下關に赴きたるが十八日夜歸城の筈
▲吉田英三郎氏（東拓庶務課長）十六日より出勤

八面鋒

●獨逸講和委員は、講和條約を締結すべき權能を有し居らずと傳ふるものあり、果して然らば之れ程の怪事は稀なるべし。何こなれば最初獨逸が派遣すべき講和委員が、貧弱にして總ての權能を有せざる點に於て、聯合國を侮辱する者なりとなし、之れに對して抗議を挾みたる結果、新に今回のランツァウ外相を首腦とする委員の派遣となりたるに拘らず、更に此の一行も亦單に獨逸の使節なりとせば、獨逸は益々聯合國を飜弄する者と云はざるべからず。而して獨逸に於ては、大統領も政府も、斯の如き權力を有せずとせば、聯合國は愈々何人を責任ある當事者として、約條の締結をなさんとするか。

●獨逸は其の憲法の六條に於て、條約の締結は國民議會と各州議員の認諾を必要とすべく、獨逸委員は聯合國の言に從つて條約に調印をなすも、斯は單に手續上の單なる一形式にして、調印後は必ず國民會議と各州議員の承認を求め、若し承認を得ざる場合に於ては、人民投票に依つて其の可否を決すべしと。然らば、傳ふる者の言の如く、獨逸委員の權能は、唯其使者として、且つ形式手續の取扱者として、獨逸より派遣されたる者に等しく、而も獨逸國民の意志は、絕對に條約の拒絕を決定し居れり。聯合國は如何にして此の舞臺に最後の幕を引かんとするか、巧に一杯食はされたるの觀無き能はざる也。

●利益を主張する處、權略あるは免れざるも、吾人今日の外交を見るに、フューメ問題は米國の讓歩こ思ひきや、ウイルソン大統領は其の反對の立場を毫末も變化せずと聲明し、獨逸委員亦斯の如く、支那委員の確證を要求する處、佛英米が世界改造の爲に、國際聯盟の製作者となり乍ら、一方に於て聯盟以外に三國同盟を締結して、自ら國際聯盟の有名無實を最も露骨に語る等、之れを以て外交の上策となさば誰かマキアベリズムを今に於て笑ひ得るものぞ。

法人登記公告

春川金融組合登記事項變更 大正八年四月拾日專務理事島田馬八辭任シ同日江原道春川郡春川面要仙里九拾六番地……右就任シタリ 大正八年五月拾四日登記 京城地方法院春川支廳

法人登記 開城金融組合及豐德金融組合理事大崎市治ハ大正八年五月九日其住所チ左ノ處ニ移轉シタリ 京畿道開城郡松都面大和町貳百五拾貳番地ノ登 右大正八年五月拾四日登記 京城地方法院開城支廳

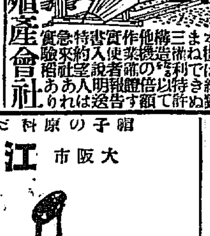
法人登記 金城金融組合登記事項變更 大正八年四月三拾日理事橋本貞次ノ理事ヲ解キ同日左者理事ニ任命 大正八年五月六日就任 金化郡金城面……芳忠里九拾七番地 森薫八 右大正八年五月拾五日登記 京城地方法院金化出張所

洪川金融組合登記事項變更 組合長李斗容、監事任期滿了ノ處大正八年四月貳拾五日改選ノ結果……重任シ新ニ……就任シタリ 右大正八年五月九日登記 京城地方法院洪川出張所

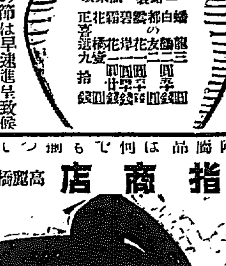
四ケ月卒業（通信教授） 男女 事務員養成 ●銀行會社へスグ就職が出來る 本所は多年講義錄にて甲種商業學校程度に於て銀行會社事務員を養成し各所に就職せしめつゝありしが今や急速なる增員の要求を滿すこと能はず故に今期は卒業期限內と雖も勉強次第何時にても卒業せしめ直に就職の特典を與ふ自宅にて獨立自活の道を立てんとする小學程度の男女はハガキで申込次第手引規則書內容見本を進呈し其他諸種の特典を與ふ 東京青山南町 銀行會社員養成所

小學教員 師範入學 ●本會は高橋博士を會長とし專ら小學教員志望者の爲めに師範入學志望者の受驗準備講義錄を發行し多數受驗者中必ず合格の榮冠を得せしめんとす今回會員五百名限募集諸種の特典あり入會希望者は申込次第會則見本進呈 東京青山南町六 日本師範教育會

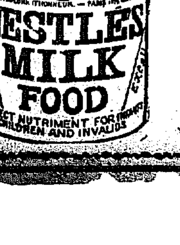
稻扱 麥扱 貸附 豫約 急募 每年時期は註文超過故今から豫約す 本機は絕對まねのできぬ特許三倍の能率の外に他機械の遣ひ難き特徵あり作業者使用者の證明報告書實費入說明書は御一報次第返送す 特約社募集 急 實驗稻扱あり 大阪難波西原町 殖產會社 繩機も貸取引す



宇治 自園 茶 玉露 煎茶 定價表御入用の節は早速進呈致候 但時價の勘定仕候 京都市柳馬場綾小路南入 美濃部降福堂 電話下一八八二 振替大阪五一六七番

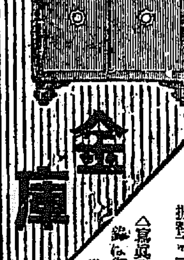


ネッスルミルクフード 卓越セル効果ハ既ニ日本ニ於テモ充分認メラレ、ソノ需要ハ益々增加シツヽアリ 小兒虛弱者及老衰者用強壯營養物醫師病患者之保育 醫師諸氏ノ御推薦ヲ蒙レリ 左記申込書御切拔の上御住所御姓名御記入金十錢郵券（送料包裝費として）御封入被成下候はゞ見本包一個御送付申上可く候 茲許郵便切手金十錢也封入候間ネッスルミルクフード見本包御送付相成度候 住所 氏名 年月日 橫濱郵便局私書函第三〇四號 ネッスル及アングロスヰス煉乳會社行



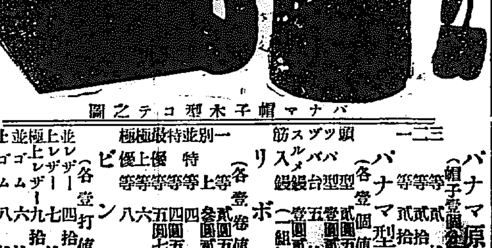
■寄宿本位■二ケ月卒業■運轉手技術者養成■卒業生本校紹介就職■ 日本自動車學校 ■六月一日新學期開始■東京羽田日本自動車學校へ學則申込べし■

國末式ベント 金庫 進歩せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる…… 國末式ベント金庫は 人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重量物の墜落に無限の抵抗力を有するは國末式ベント金庫の本領とす…… 內閣諸官省御用 金庫製作所 國末金庫店 東京市日本橋區通四丁目 電話本局三八五番 振替東京一九〇二 △寫眞入商品目錄は御報次第進呈仕候



◎北海道材 各種新荷着 ▲右多數着荷仕候間多少に不拘御用命被下度候 栓板器械挽 厚三分以上 北海道江材 海線用材 家具挽材 床板材 ロクロ物材 家具、卓子取 雜木各種 京城黃金町壹丁目 本明雜木店 電話長三一七五番 振替京城五一七三二 電信略語（ホ）

帽子の原料と附屬品は何でも揃つてゐる 大阪市 江指商店 高麗橋詰 見本進呈



パナマ帽子木型之圖

パナマ原料（帽子壹個分） 一等 二等 三等
パナマ型類（各壹個値段） 頭型 ツバ型 ズル台 筋鋲
リボン（各壹巻値段） 一等 別上等 並等 特上等 最優等 極上等 極優等
ピン皮（各壹打値段） 並レザー 上レザー 極レザー 並ゴム 上ゴム 一等繊皮 二等繊皮 本繊皮

◎各地騒擾の經過
勃發から終熄まで
京畿、平南最も猛烈
約二箇月五百餘箇所に亘る

三月一日京城及び平壤に勃發したる今次鮮人の騒擾は漸次各地に蔓延し一時人心を不安に陷らしめたるものありしが四月中旬頃より稍鎭靜に向ひ今や略終熄を告ぐるに至れるが如し今之が經過の概要を記さんに

▽本年二月 東京留學生の間に當時開院中の衆議院に對し請願書を提出し其の承認を求けて朝鮮民族の自立を成就せんとせるを發端とし其の思想次いで朝鮮内の同志青年に及び終に李太王國葬の前後に於て其宣言書を發表し一種の示威運動を開始するに至りしものとす宣言書は天道敎、基督敎、佛敎師等を主なるものとし

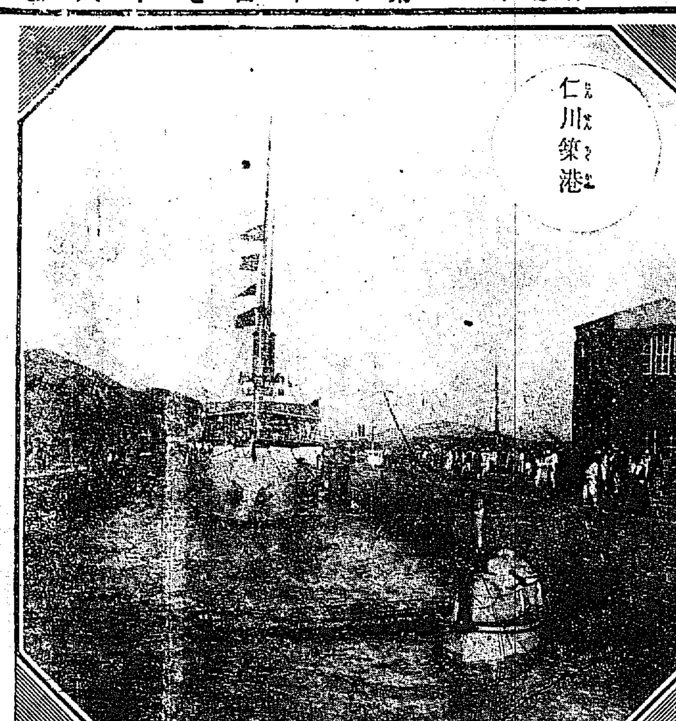
▽三十三名 の連署より成り帝國の羈絆を脫し自ら國家を樹立せん事を高唱し激烈不穏の文字を連ねたるものなり斯て京城、平壤兩地の騒擾は其の性質比較的穏和にして容易に鎭靜に歸したるも引續き平安南北道黄海道等西鮮各地に續發し三月四日成川、江西兩地に起れるものは甚だしく

▽惡性を帶 び數千の群衆は憲兵分遣所、駐在所を襲撃し終に分遣所長、上等兵、補助員等五名の慘殺せられて殪に死せるあり順川、安州、宣川、鐵山等の著名市邑は十日前後に於て相次いで騒擾し民の襲ふところとなり人心恟々たるの狀ありしが二十日前後に至り稍鋒を鎭うせし觀あり此の地方に於ける騒擾の經路を見るに平壤、江西、鎭南浦、安州、宣川、義州、成川等は主として

▽耶蘇敎徒 及び天道敎徒の煽動に出で此等敎徒の分布の濃厚なる丈け騒擾の經過を悲慘ならしめたるの形跡あり而して又一面大邱、馬山等を先驅として三月八日頃より勃發したる南鮮各地の騒擾は西鮮の小康を見んとする頃より漸次に惡化し來り二十日頃に於いて稍濃厚となり陝川、成安、安東、寧海、槐山、沃川等に於ける群衆は其性質獰猛にして恰も往年の

▽東學黨に 見るが如き暴狀を敢てし所々に死傷を出せり而して漸次江原咸鏡南北等北鮮の諸郡に波及するに至り四月一日頃に於て殆ど全鮮の各地を犯さるゝの狀あり此の時機に於て最も濃厚なりしは京畿道にして暴民の死傷を見たるのみならず警察官憲にも亦死傷を出し

▽巡査二名 慘殺せられ郵便所、警察官駐在所、面事務所、學校内地人住居等の破壞せらるゝもの多くあり而して是等各地の騒擾も亦耶蘇敎徒天道敎徒を以て主謀とせるの觀あり其騒擾の比較的穏和なりしは全羅道地方にして他の各道に比し浸潤の程度稍淺きが如し


仁川築港
婦人見學團の見る

死傷損害の總勘定
官憲の死傷百を超ゆ
暴徒の爲黨騒擾に參加

初發より今日に至る騒擾日數五十八日間騒擾箇所數凡て五百七十九箇所にして就中多數群衆の集合せしもの三百十箇所なり此等群衆中

▽暴行を敢 てしたるもの百十三箇所爲に死傷者を出だしたるもの百十一箇所にして暴民の死者合計三百九十九人傷者八百三十八人なりとす、鎭壓に當り終に殪に死せし警務官憲前後八人傷者百六人を出だせり而して官公衙の破壞損害せられたるもの亦少からざるが就中面事務所の四十七

▽警察官署 の四十五を最多とし郵便局學校郡廳其他に於て二十四箇所を算せり而して此等騒擾の經過を見るに宣言書の署名と各地煽動の狀況よりせば其の主動たりしは天道敎徒耶蘇敎徒の連衡と是に志想の未だ堅固ならざる青年學生を加へて事態稍重大なるの感ありと雖も其の主動者たり煽動者たりしものは比較的少數にて

▽巧に市場 に出沒し風說を流布し脅迫を加へ利を以て誘ひ多數を糾合するに成功したりと認むべきものあり又所に依り此れに往年暴徒の殘黨たりしもの參加するありて其の群集の甚だしく惡化したるを看取し得べきあり

官憲の鎭壓方針
軍隊出動は止むを得ず
憂ふべき危期は去る

騒擾に對する官憲の鎭壓は初め彼等の武器を有せず一種の示威運動に止まる可きを豫想し絶對穏和の手段を採らんとせしに拘らず暴民は衆を恃みて反つて之を蔑如し反抗狼藉甚だしきものあり所々に官廳の破壞と官憲の慘殺を敢てするものあるに至りて終に

▽兵力を藉 りて之を壓迫するを餘儀なくせらるゝに至りしものなれ而して其の漸く範圍を擴大し騒擾の久しきに亘るを看取するや内地軍隊の增派を要求し以て良民を不安より救ふの手段を採るに至らしめたるものとす斯くて騒擾は軍隊及び官憲の鎭壓と地方良民の自制的施設とにより今や鎭靜し其一旦煽動を受け騒擾に參加したる者も

▽前非を悔 いて生業に歸り各其業に復ぜるを認むるを以て最早甚だしく憂ふべきものなきに似たり然れども尙事理に暗く在外不逞鮮人と連絡し事を構へんとする一部の徒輩ありて各地に流言蜚語を放ち民心を蠱惑するもの未だ其跡を絶たず

一視同仁
死傷者の手當や窮民の救濟

尙騒擾により生じたる暴民の死傷者に對しては地方官憲に於て直ちに相當の手當を加へ其の病狀稍重きは之を慈惠醫院に送り其の醫療の資なきものには赤十字社費を投じて之を救治するの方法を採りたり但し私立病院に於て治療を受けたるもの少からず又死者にして引取人なきものは收めて之を埋葬

◎自ら招いた罪
眞心を示せ

……後に於て日本政府は表面温情を以て鮮人を遇すべきも裏面に於ては從に比し却つて多少の自由を束……良分子の侵入を防ぎ一日も速かに秩序の恢復し此業を勵み以て官憲に對し吾人の眞意を表明せざる可からずと云ふにあるが如し

……の困難を豫想し四月三十日之を實施せしに事實は之に反し頗る良好の成績なりしより其原因を内査せしに同地居民……民は之に眼じ進んで清潔法を實施するに至りしこと判明せり

仁川へ

第一回婦人見學團 (定員百名)

◆見學場所 主なる處は觀測所＝築港

會費と申込
本社主催第一回婦人見學團は既に發表しましたが都合を以て延期致して居ました處愈々此の新緑の候を卜して實行致します事になりました婦人諸嬢方は振つて御賛成あらん事を希望致します會費は往復汽車賃及雜費共合せて一圓のみで別に何にも要りませぬ申込のお方は往復葉書一枚に『往』の方に住所氏名『復』の裏にも住所氏名を認め何々樣とお記し下さい其の返信が會員章になりますから之は當日必ず御持參下さい曾て發表の際申込のお方で入會權を保留して置きました方が四十二名御座ります其方が今度の御加入如何及辨當等の件葉書にて御通知を願ます

注意の色々
辨當は各自御携帯下さい但し仁川に御註文のお方は本社が便宜御周旋致しますので申込の葉書に御入用の旨御記載をお願しますから而して要意の部に御合がありますから御入用の方は必ず二十一日の正午迄に葉書が本社に到着する樣お願します辨當料は一人五十錢であります
此の他の詳細は日々本紙上で發表致しますから御賛成御加入を願ひます、而して葉書及び御聞き合せの事は總て本社婦人見學團係宛にお願申ます締切は二十一日正午まで

◆見學期日 五月廿二日(前八時五十分南大門出發 後六時二十六分同驛歸著)

主催者 京城日報社

○播州平野の大演習
新武器を應用し大規模に擧行

本年の陸軍特別大演習は今尙ほ具體的に發表せられざるも聞く所に依れば播州の平野に於て行はるゝこと殆ど疑ひなきが如く之に就ては著々之が準備に着手しつゝあり今回の大演習は頗る大規模にして歐洲大戰の敎訓に鑑み飛行機爆彈毒瓦斯其他有らゆる新武器を應用し從來の大演習には見る能はざる新計畫の下に施行せらるべく參加師團は大阪、姬路、岡山、善通寺の四箇師團なるべく演習の中心は播州加古川附近なるも、近く鐵道院にては加古川姬路間の擴張工事を施すべく既に準備に着手したり又陛下大本營は武庫離宮に置かせらるべく演習中は日々同離宮より演習地に成らせらるべし(東京特電)

◎驅逐艦入港
十九日仁川へ

第二十七驅逐隊(桐、朝霧の二艦)は來る十九日司令官岡田海軍中佐統率の下に仁川入港廿三日迄同地に碇泊し廿四日仁川發廿五日鎭海へ入港すべし

◎民事訴訟法の缺陷
司法官會議で問題になる
與太利法に則つた朝鮮民事令の方が完全

司法官會議に列席し十五日夜歸任せる渡邊高等法院長は語る
内地の民事々件は總體を通じて結末迄の期間が可成永く五六年がゝりで尙ほ片付かないと云ふ事件は何處の裁判所にもザラに有る事件の處理上非常に面倒であるが朝鮮に於ては

二年と長延 した事件は極めて尠い是は内地の民事訴訟法の缺陷が然らしめるので今回の司法官會議に於ても其缺點は充分認められたらしいので何れ改正の時期が到來する事と信ずる例へば期日の變更の如き内地では
民訴第百六十八條『期日の變更は口頭辯論の期日の指定は申立により又は職權を以て之を爲す但し申立に因れる期日の變更は合意を除く外顯著なる理由ある時に限り之を許す』に依るので從つて相互の申合せで延ばす事が出來るが朝鮮では民事令第二十八條を以て『期日の變更又は期間の伸長は當事者合意の上に於ても

相當の理由 あるに非ざれば之を許さず』と規定されてあるから即ち事件の解結を早からしむる一理由である次に民訴には
第二百六十條『故障を適法とする時は訴訟は闕席前の程度に復す』とあつて印紙さへ貼れば何度でも故障が出來るが朝鮮民事令では第三十五條『再度の闕席判決に對しては故障を申立つる事を得ず』とあるが尙ほ民訴には
第百八十八條『口頭辯論の期日に於て當事者雙方出頭せざる時は訴訟手續は其一方より更に口頭辯論の期日を定むべき事を申立つるまで之を休止す但し一ケ年內に前項の申立を爲さゞる時は本訴及び反訴を取下げたるものと看做す』とあるが朝鮮民事令では夫が第三十條『訴訟手續休止の合意は

書面を以て 之を裁判所に屆出づべし前項屆出の日より三ヶ月內に當事者の一方より口頭辯論期日の指定の申立を爲さゞる時は本訴及び反訴は之を取下げたるものと看做す其の申立を爲したる時と雖も期日前重ねて休止を爲し其期間前後を通算して三月超ゆる時は亦同じ』となり即ち一年が三ヶ月に減期せられて居る又判決送達の如きも民訴には
第二百卅八條『各當事者は判決の送達あらん事を申立る事を得其申立ありたる時は判決の正本を送達すべし』とあるけれども朝鮮民事令では
第三十六條『判決は職權 を以て送達するを得』となつて居る即ち判決送達の日より上訴控訴共に期間が定められるのであるが民訴法は何等の如く判決の送達申立をしない間は何時迄經つても上訴控訴の期間が定まらない從つて事件は何時迄も片が付かない、それを朝鮮民事令では『職權を以て送達する事を得』とあるから訴訟人の方に於て等ら延ばさうと思つた處で到底其日である朝鮮の民事々件が早く片付くのは先づザツと以上のやうな理由によるので朝鮮現行の法令は

内地の適法 よりも確かに一步進んだものと云ふ事が出來る今更云ふ迄も無いが日本の民法は獨逸法で朝鮮の民事令は與太利法である與太利法では民訴は人民間に於て雌雄が決せず止むなく法廷に持出して來たものであるが既に法廷の力を借る以上決して人民の意志により勝手に事件の延縮を許さないと云ふ事が精神になつて居る畢竟、朝鮮民事令は日本現行法の缺陷に鑑み此與太利法の精神を酌んで制定したものである』

◎榮譽の受賞者
染織工業博覽會と朝鮮

嚮に京都市に於て開催せられたる全國染織工業博覽會に於ける出品者授賞授與式は去る五月十一日同市公會堂に於て擧行されたるが同鮮側出品者にして受賞したるものは金賞、恩賜授産京城機業場以下八名銀賞恩賜授産機業傳習所自營園(忠北清州)以下十二名、銅賞吉田儀作氏(鎭南浦)以下二十四名褒狀金奭照氏(京城)以下十六名計六十四名なりと而して金賞受賞者の氏名並に出品々名左の如し
銀網恩賜授産京城機業場(京城)尙州郡機業組合、官紗齋藤製絲織物社(京城)明紬官紗平壤染織所、官紗大同染織所(平壤)柞蠶紬李基升(忠南泰安)安東麻布安東麻布組合(安東)忠南苧布忠南苧布組合聯合會(公州)生絲絹製絲場(大邱)

◎連絡船上陸客
十六日……辻文蔵、同政子、同みわ子、同文枝、松井……石田權吉、山根謙、眞好正之助、吉野富士……貿吉、同つち、竹下さく、大山もよ、柴太郎、鹿瀬德二、山名たき、岡藤三郎、宮市くに子、師尾隈忠、柳原信潤、荻川忠芳、園搬太郎、中島平代、滿留伊三郎、同さく……

◎モーリーの判決
懲役四箇月に處し二年間執行猶豫
直ちに上告す

平壤米國人宣敎師モーリーに對する保安法違反犯人藏匿被告事件控訴公判々決言渡しは十七日午前十一時平壤覆審法院刑事部法廷に於て米國總領事其他米國人宣敎師傍聽人は前回と略同樣にて
奈席橋本裁判長は被告モーリーに對して懲役四箇月二箇年間刑の執行を猶豫すべき旨の言渡しありモーリーは直ちに森岡辯護士に依り上告の手續をなしたり(平壤電話)

◎壯觀想ふべし
講道館支部の紅白試合
兩軍とも主將は三段

講道館京城支部は既報の如く十八日午後一時より大紅白試合を擧行する筈なるが聞く所によれば紅軍は三菱京城支店の法學士三段齋藤一氏を大將に頂き殖銀の法學士三段高橋岩五郎氏を副將とし續いて本町警察の喜初段外七名の初段を中堅として、五十嵐一級以下三十餘名の

▽一騎當千 の荒武者控へ、白軍は群山より遠征し來れる三段波來谷乘勝氏を主將として全鮮警務總監部の二段清水重雄氏を副將とし、本府總務課の小林初段外七名の初段、佐藤一級以下三十餘名の猛將勇卒武者振り勇ましく紅軍に對せんとするもの、如く未だ戰はざるに早一脈の

▽殺氣堂に 滿つるの概あり、當日は定めて近來になき大勝負を演出するならんと豫想さる。尙講道館支部は開設以來未だ一週年ならざるに入門者既に六百名に及び內初段以上七十餘名を算するの盛況なるが明十八日は東京本部に於ても亦紅白試合を行ふ事となり居れる由

◎奬忠壇の心中騷
京管局員と新町の娼妓
辛うじて命は取り止む

十六日の午後四時頃一人の男が慌ただしく新町派出所へ飛込んで只今奬忠壇で心中がありますと息せき切つて訴へて出た、それッと云ふので係官は時を移さず現場に驅け付けると奬忠壇の山番奥田武造方の前に粹な衣裳をした若い女が咽喉から胸の邊を血みどろにして苦悶して居る、續いて二十間ばかり山手には血塗れの男が蟲の息で倒れて居たので係官は直樣應急手當を施した男は咽喉部に長さ一吋半、幅〇、七吋程で氣管に達する重傷其他に二創を負うて居る女も咽喉部に長さ六分幅一分の動脈を切斷し重傷の外に數創を負つて居たが生命だけは何うやら斯うやら取止める事が出來た。

男女の素性
元山以來の馴染

此慘事を强行した男女は京管局員毛利由雄(三十)と新町九番地蛇子樓抱へ娼妓玉之助事長崎縣南松浦郡生れ三藤モヨ(二十)で毛利は大正六年春元山驛に勤務して居る頃當時同地遊廓に居た玉之助と馴染んだのであるが男女の間には種々の情話もあるが要するに心中を思ひ立た原因は不義理の借金に動きが取れなくなつた結果らしいと云ふ事である

鋭利な小刀で
咽喉を刺合ふ

斯くて死を決するや玉之助は十六日の朝蛇子樓を出で毛利の住居を訪れた後二人連れ立つて新町裏山に赴き奬忠壇の建碑を距る約二丁の山腹松林に入り長さ四寸許りの鋭利な小刀で二人が互に咽喉を刺し合つたのであるが女は苦悶に堪へず山番奥田方の前まで轉げ出て倒れたのである、因に男は間もなく總督府醫院に女は新町病院に收容された

◎獵友競射會
十八日奬忠壇で

朝鮮獵友會では時局の爲め春期大會を延期してゐたが愈々十八日午後一時から西四軒町奬忠壇射擊場に於て同會の季射擊競技會を擧行し士器飾りの競射を試みる筈

◎二百圓橫領
京畿道始興郡新北面無職朴黃潤(三二)は昨年十月市內本町四丁目新炭商川道仁太郎方に雇はれ中主人から朝鮮商業銀行にて三十圓引出しを命ぜられたるを奇貨とし通帳在高全部二百餘圓を橫領逃走したるより爾後搜索中の所去る四月廿三日元町一丁目廿七番地漢藤寬方で黑靴一足其他窃盜を働き是を入質した處から足が附き龍山憲兵分隊の手に逮捕され檢事局送りとなる

噂ばなし
▲小庄と三遊が五の日の休みによく連れ立つて市中を歩いてあるのを城天狗が見て『ハヽア、三味線が上手で頭さは矢張り調子が合ふと見える』▲一瀬南大門君も近頃大勝三味線が上手になつたさいふ評判稽古は爭はれぬもの▲フトの五八、女義太夫だけに頗る巧者な所もあるが三味線の掛け中々奇拔▲東京の和玉仙十郎等が……▲忠州に行つた……▲新町の天狗連は……可なり

大相撲
五日目取口

▲達の矢に射水川 は射水敵の左を取りトツタりに行き殘るを突倒して射水の勝▲釋迦嶽に大の高 は右四つ大二本差寄り釋迦小手投打つて勝▲阿久津川に阿蘇嶽 は左へ右上手押し阿蘇左を筈に替へて右上手押し阿久津打返す途端を左へ捻り倒して阿蘇の勝▲八甲山に小牛田山 は小牛二本差して喉下り八右上手捻引き强引の上手投げ打つ途端小牛左足を使ひ切返して勝▲御西山に敷島 は右四つ西敵の首を卷き首投げを試みしも敷殘し下手投打つて勝▲源氏山に白岩 は突合ひ白粘つて左差し容固を投げ打ち殘るを突出して源氏の勝▲友の浦に紅葉川 は突合ふ中紅葉引落しを見せ友が後を見するところを送出して紅葉の勝▲一湊に矢筈山 は突合ひ突出して矢筈の勝▲大門岩に琴ケ浦 は大門二本差して鋭く寄り琴右小手投げを連發して防ぎ大門尙ほ煽り立てしが琴打遣つて勝▲駒ヶ嶽に千葉崎 は突合千葉双筈押切つて勝▲栃木山に三杉磯 は右四つより左四つとなり栃鋭く寄るや三打遣りを見せ栃寄倒して勝▲鳳に常の花 は常の左を鳳呼び込み大きく小手を振つて鳳の勝(中入)▲綾川に黑瀨川 は左四つに組んで寄合ひ綾の掬投げ打し時黑瀨預けて靠れ込み綾は黑に上りしも同體に落ちしとの物言ひ附き結局黑の勝となる▲大鳴門に宇都宮 は左四つ宇都左外掛けに掛倒さんとするを鳴門靠れ込んで勝▲宮山に鬼鹿毛 は突合ひ右四つ鬼の寄出る鼻を宮上手除しを試みて勝▲逆鉾と清瀨川 は突合ひ左四つ逆の寄る鼻を清掬投げにて勝▲大の里に大蛇潟 は右四つ里敵の寄出る鼻を捻り潟左蹴返しを試み一呼吸の後潟右を差さんと焦慮るを里下手捻りにて勝▲岩木山に藤の川 は藤烈しく突進み引士俵を一廻りして逃げ素首落しにて岩の勝▲大戸平に對馬洋 は大戸左を差して一氣に寄り對馬小手投げを打つて防げば大戸掬投げ打ち靠れ込んで勝▲大錦に若湊 は左四つ吊出して錦の勝(東京特電延着)

天氣 京城地方 大(十八日) 晴一時曇
▼京城氣溫……

乳の出る博士の藥
お産をなさる位の御婦人ならお乳の出ない筈はないのでありますが今迄よいお藥が無かつたから、乳不足でお困りの方が多いのです、米國醫學博士敷津先生は乳不足の婦人を救はふといふ同情心から年來苦辛研究せられたる結果遂に乳の出る藥を發見せられ多くの婦人に實驗して其卓越せる效果ある事を確信の上今回發表されたので、博士自身も滿足せられる程完全な乳の藥だと驚喜せられて居ます、從來ありふれた山師的素人藥と違ひますから、一寸ハガキで申込になれば委しく御通知致します
東京市京橋區築地町二 電話京橋三九七六 一葉屋

好評激賞 廿圓投資せば
四月に六圓三年に元利二百五十圓に利殖する收利方法無代送 大阪堂島中一 櫻商會

△金剛山産松の實 松の花應用▽
金剛餅 金剛饅頭
京城本町 電話二七番 四七五番 龜屋

染著完全 志ら毛染
君が代
染法輕便にして三十分に自然の黑髮の色艶に染る 本品は到る處の有名藥店化粧品店にあり
定價 特製三十錢 別製三十五錢
東京市淺草區藏前片町 志ら毛染 君が代本舖 山吉商店 振替東京一九三七二 電話下谷二八八二

…暴擾に關する鮮人にして今次の暴[illegible]なりと雖も一部不逞輩の妄動に依[illegible]事件の成行きを冷靜に觀望し居り善良なる同胞の此の境遇に陷る者の感想を綜合するに騷擾通匪は斷じて堪へず故に吾等は今後不[illegible]…に騷擾を惹起せし地なるを以て英[illegible]憲兵分遣所に於ては簡潔法實施[illegible]抗し暴民の名を冠るが如き愚昧の擧に出づるの非を諭したるより部[illegible]

[illegible]（百二十九名）上田作太郎、同ゆきた、同あや、同みよ子、同耕作、好利一、同ひさ、山崎喘五郎、眞田松次郎、同しげ子、[illegible]治、稻葉きみ、松井良雄、本田米造、同一、同良一、旋瀨かめ、松田直子、同方平、同良一、同文子、同きく、矢野桑太郎、渡邊茂吉、[illegible]郎七、佐伯初次郎、大庭米三郎、有田豐太、[illegible]英、櫻本慈二郎、加藤銀重、宮持啟、宇佐英敬馬、水内箭治、金成光雄、西猛英、[illegible]
十六日午後入港[illegible]丸[illegible]二等（十三名）松本金太郎、河崎[illegible]口多内、同信子、同一、阿部政次郎、同慶吉、加藤定吉、辰市本丸、外八三名
[illegible]三等（百五十七名）[illegible]

第一版

◎滿鐵正副社長を訪ふ
首相もどきの白紙主義の科白

▲滿鐵の新首班　が打揃つて愈々近く滿洲入りと云ふ日、丸の内の支社樓上に野村社長に見參する、上品な辯髯を端然と構へて極めて謹嚴、お年よりは若い底力のある聲が頗るレディアブルな感じを與へる『滿洲には大正三年以來行つたことがありません、朝鮮には始政記念共進會の時に行きました、此次に上京する時には朝鮮を經てやうかとも思つてゐます、社債三千萬圓は成る可く上半期中に募集したい考へで興業銀行に依賴してあります、けれども詳しい條件は未だ決定して居りません、新株の拂込未濟額は六月一日拂込をさせることになつて居ます、未募集株を募集するや否やは未だ決定して居りません

▲新理事を何名　補員するか夫れ決定してゐません』と一語一語句切るところは泱々如として『決定して居ません』蓋し林新長官の一寸した話設の言葉尻を捕へた旅順市民の何とか決議とやらが莊嚴なる新社長をして益々『決定して居ません』宗を奉ぜしめるに力ありしものか。去て與午七時、澁谷の中西副社長邸に推參す、女中が『昨晩お疲れですから暫くお待ち下さい』とあつて待つこと二時間、其間甲氏乙氏應接室に詰めかけるもの五六。暫くにして二階の書齋に通される、明かるい洋室の椅子に深く腰を下した主人公は頻りに金齒を入れた齒齦に手を遣りながら『いやお待たせしました、今醫者に齒を療治させてゐたものですから——いや一寸拔いて了つたんです、此間まで入院して居たのは身の方です、我々老骨になると身體に手が掛つて堪らん』

▲其癖一向老骨　らしくもない身體を搖すぶりながら是れはまた磊々として圓轉滑脫『いや私は滿洲は知りません、朝鮮も行つたことが無い、支那も行つたことが無い、實は滿鐵の職制も未だ詳しくは知らない始末なんです、興業部と總務部を置くかつてそう〳〵何處かの新聞にあつたが、嘘々、あれはみんな嘘です。未だ何も決つて居ないんです、此方で決まつたことがあればドシ〳〵公表するのだそれを無暗なことを推測して書くのは困る、日本人のはお互に仕事を突つ突き壞すやうなものだ、惡い癖ですな』そんな事は少くとも私は知りません、副社長が知らない中に職制が變更されると云ふ譯は無いと思ふ

▲若し私の知ら　ない中に決まつたのなら私一個から面目[illegible]だ、ハヽヽ。ウン松本君、片山君か、あれ猶保險掛だつて、自然でも危險でも一あの二人は何でも出來る、腕力の强い人は米俵でも炭俵でも何でも擔ぐからね、出來るものは何處へ持つて行つたつて出來ます。豫算は[illegible]豫算なんか未だ見てゐる暇が無い、朝から晩まで人に會ひつめでせう、尤も人に會ふのも職務の一つなんだらうが——私が遞信省に居た時も水道の許可を與へて呉れと朝根氣よく訪問する人が有るんだ、あそこは遞信局が煩さいから、それから言つてやりました、君が來てさへしなけりや許可不許可の指令は早くなるつて、だけ命くです——だから私は

▲遞信省に居た　時は夜役所の書類を見ることにしてゐましたがね、ウィルソンなどは朝は仕事をして午後は人に會つて運動をするとキチンと定つて居るさうだが實に羨ましい。日本人は不規則で駄目です、面會の時間を決めたら何うだつて——いや、左樣すると又、眞の急用で來る人に氣の毒だから——豫算どころではない、僕の滿鐵に關する知識は只あれだけの鐵道をやつて鞍山站に製鐵場を持つてる會社だといふ位のところです。第一滿洲といふ土地も知らないし、滿鐵に何んな人が居るかも知らない、樺山君だつて敢野君だつて二三度飯を一所に喰つたことがあるだけだし川村君には病院で二時間許り見舞に來て呉れて話らしたが、そんな時に滿鐵の話も出來ないからね』

▲外務省系から　理事が入るつて？いや、そんなことは無いでせう、少くとも私はその事は知らない、川上君が居るからそんな事は無いと思ひますがね、私が滿鐵の監理官時代の滿鐵と今の滿鐵との比較？——監理官なんてゐたつて私は滿鐵に付ては何も知らない、只豫算を許可する位のもので細かいことは下の人にやつて貰つてゐる、監督官廳なんてものは泥棒を捕まへるか、借金を餘り澤山してはいけないとか、左樣いふところに目を付けて居ればよいので、女中が多いから減らしたらよからうとか、新な少し拔き過ぎるとか、臺所まで干涉する性質のものぢやない、夫れは其の

▲當事者に委せ　て置けばいゝものだ、私は澁谷の町會議員を爲してゐるが、いつも內務省へ行つて言つてやります、監督官廳は自治體を萎縮させるやうな行り方をして貰つちや困ると。いや全くさうですよ——その議論は今の滿鐵の監督をする拓殖局へも持つて行くかつて——無論、必要があれば持つて行かうと思ふアハヽヽ。——兎に角、そういふ具合でね、未だ何も決まつてゐませんからね、是からだ、皆これからです』恐ろしく齒切れのいゝ、調子のいゝ江戸ッ兒辯で『土地も知らず、名も知らぬ』と言ふところへ一切の强い意味を含めて原首相もどきの白紙主義の科白宜しくあるところへ女中が、次の訪問客の名刺を持つて來て幕。（東京[illegible]）

大連より

◎十四日大連入港の臺南丸は關東州新官制に依る第一世の宮林男爵（滿鐵新職制に依る新社長）野村博士、中西副社長、松本博士、片山博士の兩新理事を乘せ來れり
◎更に十五日朝は關東軍司令官立花將軍の朝鮮經由着任するあり俄に關東州は新生の氣勢勃として[illegible]
◎前都督府の施政及び舊來の滿鐵會社の事業方針に就きては幾多の非難攻擊あり吾人恐く此聲に同じ能はずと雖も苟くも滿蒙開發の策源として其不徹底にして創造的方針なく姑息因循更に銷沈せる消極策に甘んじたるもの多きは[illegible]
◎歐洲戰亂の後半期より我新興勢力の國民は滿蒙開發と支那問題とに[illegible]係を有する事多き都督府及び滿鐵に其積極策を促進せるも因循的植民策は依然として舊を守り、西伯利出兵は其の機を逸し東清鐵道及び北滿各種の問題には他に先んぜられ、滿鐵會社にては其の輸送力其他に於て積年の消極的無方針の內容を遺憾無く暴露するに至れり
◎茲に於て今回の滿洲主腦の根本的大更迭は單に人物の交代のみに非ずして諸般の施設亦惡弊惡果を結び第一期の凋落を告げたる際なるを以て今回の滿洲主腦更迭は其の人と事と共に新生面を開かんとするものなり
◎特に今回の人選は政府者の最も意を須ひたる處にして何れも滿蒙の前途の利害問題を雙肩に擔ふに足るの自信と信念とを有する人々なりと聞き[illegible]より十有五年停滯歩[illegible]たりしもの必ずや[illegible]すべきもの必せり
◎新任主腦の人々亦既に永く滿蒙の開發を企圖せる積弊の在る處を察し鋭意改善努力の覺悟を抱懷せりこの事なれば之より我文化は融々然として滿蒙及び極北の地に至るまで光被せらるべく之れ新幹部を迎へたる日の吾人の感想なり（十四日）

滿洲遠邇
（二八）別莊の星が浦　一貫生

狹い旅順で思はず長くなつた、まだ書けば幾何もあるが、旅先、否筆先が急ぐのでそれで失敬し、取つて返したが大連、坐して食せば山程あつても無くなると、小學校の先生に經濟學の原則を修身で習つた拙者、旅中時間を空費して宿屋の一室に無意味に煙草を吹かすは、賢の賢たる者に非ずとこのワット以上の大發見と、百聞は一見に如かずと、黑船時代に祖父が主張して君公より褒賞を賜つた言葉とを捏ね合せて、出發迄の時間を利用し、大連再見と出掛けた、其れに付けても思ひ出さるゝのは漸進君、宿屋にて其後の消息を聞くと、何うしたか知らぬと云ふ、其も尤もな話し、まさか何處かに迷ひ兒になつて居るのでもなからう、よしく、拙者も一人だつて迷ひ兒になる心配はなからうと早速例の如く電車に乘る、乘心地は好い、我が行き先は人にこそ聞へで、萬事を車掌君に委託して悠々と窓から市中の模樣を眺めて行く、敢て奇異を感ずるのでもなければ、吃驚する丈けの事もない、小崗子から郊外線に移る、乘り替へよと云ふまゝに先着の車に乘る、オイ一體拙者は何處へ行くんだと聞くと、車掌君キョロリと目を光らせて、星が浦でせうと云ふ、成る程其うかナアと呑氣なもの、沙河口から本線と別れて、淋しい町を走らせる、電車ならばこそ、春とは云へまだ冬枯の中だ、之れが步いて行けと云はれたら、百聞一見に如かずも何もあつたものぢやない、幾等金をやらうたつて拙者は眞ツ平御免を蒙る、まあいゝや電車なら行つても見る事になる、が浦に着いた、景色は佳い、が雅是拙者には唯同地が富豪の別莊の美を爭ひ美を競ふ地となつて居る樣が直ぐ感じた、別莊が何うあらうと拙者とは何等の關係がない、其の云ふ事はまあ隱居でもした時か成金にでもなつた時の事である、若い者が其樣な心配をしてをると頭が早く禿る、だから拙者なぞは決して一生頭は禿ぬ事を保證して置く、鳥渡腰を卸して茶を呑んで居ると、聞きもせぬのに、彼れが誰の別莊、彼れが何と云ふ人ので、まあ一番と云はれて居るなんて說明を聞かされた、紹介賃でも貰つて居るのか、馬鹿に叮嚀に說明に努めた、拙者には分らんと云ひたかつたが、好んで人の感情を害する必要もないから、フウ〳〵と聞いて居たが堪らなくなつたので、此の邊の魚は美味のだらうナアと聞くと、相手はヘエーと妙な顏をした、其の時頻りに拙者の名を呼ぶ者がある、フト其の方を見ると、思ひ掛けない行方不明の漸進君が、ホロ醉機嫌で拙者を睨んで居る、相も變らず好く飲む男だ。

奉天便
◆屢々傳へらる◆　噂の大銀行計畫
…其の眞相と周圍の關係…

◇奉天に外國銀行の支店が設置されるとか、されないとかの噂は一時の評判として可成人々の頭に若干の印象を與へた模樣であつたが其の評判も、何時の間にやら立消となつて此の頃では多く是れを語るものもなくなり又事實出來ない事となつたと信じて居るらしい。
◇其の矢先へ今度は支那側で大銀行を設立する計畫があると傳へられた、又人氣は是れに向つて集中せんず勢である、が此の大銀行も煎じつめて見ると前の外國銀行の支店設置等と全然關聯がないとも計りは信じられない樣に思はれるのは一體ドウした譯だらうか。
◇勿論前の場合には、其の運動者計畫者が純然たる外國人で、今度は全然方面を換へて、支那側で而かも其の主唱者が議會とか、商務總會であるから決して巡閱使には關係はない樣であり又、其の必要條件さへ差があるから、一寸一圓に其れと計りは推察が出來ないが、今一層深く探究すると、共處に何かの關聯があるそと首肯されぬ事はない樣にも思はれる
◇第一先づ運動者が稱して居た如く外人の年間爲替取組高は決して僅少なものではないが其の間鮮銀等は特別取扱ひをやつてるから外人は決して不便を感ずる譯ではあるまいと思はれる、其れを敢て支店開設と叫ぶのは其處に何等かの理由がなくつてはかなわぬ事と思ふ外はない。
◇又他の一方から見れば、奉天省の財政は常に窮窘で混沌とは云はれない、又各金融機關も、各其の基礎が强固とは申されないのみならず、世界的傾向として財部の金融調節上、是非共何等かの施設をしなければならぬ共に、一面現今[illegible]を奉じて、[illegible]を取て、又鈔貨紊落に依つて、[illegible]の打擊を救濟するの要もあり、尙ほ滿蒙の利源開發の上に投資した額と國名とを考へたならば、何れ利權回收に急なる國情をなしては、其處に何等の有無相通する處がありはせぬかと思はれる。
◇況んや露債暴落影武者排日の激浪として萬人の認めて異とせない某國の態度が漸次南下し來りて盛んに暗中飛躍を試み而も彼等支那人が殆んど饑ゑたる者の食を選ばざるに等しき態度及び皮相浮薄なる思潮に投じて種々の劃策を案じてゐる處と相照應して視たならば決して不思議にするには及ぶまいと思ふ
◇此の計畫は、到底外資によつて成功すべきものとは全然思はれないが、然し此の種の噂が傳へられる丈けでも、邦家の利益でなく、又支那側の利益でないのは尤も明瞭なる事であらう。

[illegible]して當地東斜街の東省官業公司の仲介を以て撫順縣內四合川の森林を擔保として東洋拓殖會社より金五百萬圓の借款をなす事に決し該借款を以て過剩の小洋票及び官帖の回收をなし以て救濟の費とすべしと流布し爲めに前途[illegible]を見るに至りしも[illegible]公金收扱銀行として[illegible]東三省巡閱使吉林分署の公金收扱[illegible]振りに對して頗る注意を喚起しつゝありと

◎長春經濟通信
◆官銀號分號……官帖

▽官銀號　既報し置きたる東三省官銀號が長春へ分號を設置する事に決定し目下西四道街裕國貨業銀行跡を修理中なるが既に同分號の總理として[illegible]大洋二十萬元を携帶して出張なし來り專ら開設準備に汲々たるが開設は多分陰暦五月一日（五月二十九日）なるべく開設さるゝと共に向ふ大洋百八十萬元を送附し來りて總額大洋二百萬元の資金を以て經營さるべし奉天の同官銀號は從來大洋票を發行し居たるものにて當地に於ても大洋票發行さるべく或は永衡小洋票は益々下落の淵に沈まざるべきかと憂慮し居る者も生じ居れるが同分號は其上に穩を圖りて奉天の官銀號と同じく[illegible]、鐵莊等も營まるべき計畫なりと而して同銀號此上の[illegible]浮說に非ずやとの消息通間には觀ぜられ居るも一說として報じ置く事とせり
▽官帖　長春城內錢舖間に於ける官帖の最近相場は[illegible]吉林財界は殆んど破壞に瀕せる如き狀態にて恐慌時代を現出し財界救濟の叫びに至りしより吉林省長郭宗熙氏は孟督軍と商議を重ね外交人を北京に派し或は財政部へ窮狀を訴へ亦は救濟の法を執られん事を懇請中なりしに今回孟督軍は北京へ電請[illegible]べし

◎滿鐵諸工事（安東縣）

滿鐵安東縣保線係に於て設計中なりし乘務員指定宿舍は山下町獨身宿舍裏手に於て二階建八十一坪、平家四十五坪の煉瓦造りとなし建築する事に決し工費約五萬圓を以て志岐組との間に請負の契約成立不日工事に着手すべし又昨年來の繼續工事なる六道溝第三發電所は約十萬圓の工費を以て大倉土木組の請負にて不日工事に着手する筈又五龍背五龍閣の附屬工事は設計變更の爲め多少着手を延期し居たるが又不日工事に着手すべしと

人口（大連最近調査）

	（戶）	（人口）
內地人	[illegible]	[illegible]
朝鮮人	[illegible]	[illegible]
支那人	[illegible]	[illegible]
歐人	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

◎工場と會社（撫順）

[illegible]撫順工場は今回都合により獨立する事となり[illegible]資本金五百萬圓の株式會社を創立する由又撫順鐵工株式會社は同擴張の爲め去月株主總會を開催し第二回株金拂込みを決議し近々之が株金拂込みを行ふ由
◎鑛工會社創立（安東縣）在安東山下五郎、前田伊左衞門、渡邊喜八郎、新義州横江重助外二十三名の發起にか〻る安東鑛工株式會社は資本金二十萬圓四分の一拂込みにて創立總會を終りたるが工場は二番通りに新築し不日工事に着手すべく同社員は凡て製材業者にして各工場の修理其他の附帶鐵工を經營すべしと重役氏名は（專務取締役）河野定男（取締役）荒川六平、加來音吉、柿本幸吉、前田伊左衞門（監査役）横江重助、武藤守一（相談役）渡邊喜八郎

農信

旱田甦る　…忠南…

忠南各地は久しく旱魃打續き爲めに水稻播種に差掛りたるに苗代の設置もなす能はず植付を了したるもの一割內外に過ぎざりしが十日十一日兩日に亘る豪雨は三十ミリメートル（坪五斗五升）に達したるを以て農民何れも蘇生の思ひありたり尙目下出穗期にある麥の發育を良好ならしめ又蔬菜其他の稻子發芽及び移植苗の活着を良好ならしめたり誠に黃金の喜雨と謂ふべし

商況

株式

東京現株中値

[illegible]

東京株式特電

十六日後場引

[illegible]

大阪株式特電

十六日後場引値　十七日前場

[illegible]

京城現株標準値

[illegible]

▲東拓と增資買　東拓株は同社が近々滿鐵の事業を一部繼承するとか云ふ噂及び內地筋よりの仕掛けも伴ひ居たる迄中に京城地方には增資を見越して[illegible]

▲增資說に遠く　[illegible]

圓乃至一圓五十錢迄の買手續出つ[illegible]

八十一圓に對して吹聽[illegible]

社債發行の認可[illegible]增資說は遠く

▲滿鐵と砂糖株　[illegible]

南滿糖[illegible]

一割二分配當說[illegible]

▲朝鮮紡織引締　[illegible]

三四十錢方引締[illegible]

▲仁取株商內薄　[illegible]

極めて閑散[illegible]

多數に上り[illegible]

一齊に買控[illegible]

▲東京米綜觀　[illegible]

圓二十錢にて七月[illegible]

神戶沖着十[illegible]入電

輸入の多[illegible]

▲麥作見直す　[illegible]

平年作以上[illegible]

▲支那粟軟調　[illegible]

米況

株式・米穀取引所仲買人　唐澤正次郎　仁川海岸町三丁目　電話長六五番・一六〇番

東京期米商電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

神戶期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

▲京城正米安含み　[illegible]六千石內外の[illegible]

南大門廻穀

[illegible]

▲十七日仁川正米市場

[illegible]人氣惡[illegible]强氣筋の買狙[illegible]

▲益々不勢　[illegible]買方も手控[illegible]

釜山正米

[illegible]

各地米況

[illegible]

三品

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　仁川海岸町三丁目　電話長三三七・三八番

大阪三品特電

	十六日後場	十七日前場
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]

▲綿布行悶へ　[illegible]

氣配ボケ[illegible]

活氣乏し[illegible]先物[illegible]

雜

▲毛斯綸不味　[illegible]

▲油類は無見當　[illegible]

青物市場

[illegible]

生魚市場

[illegible]

下關相場

[illegible]

北濱便り（十五日）

[illegible]

演藝案內

本町一丁目有樂館改　喜樂館　[illegible]少女ヒリッパ[illegible]

[illegible]播州皿屋敷　六卷

京城明治町　電話二六〇　浪花館　[illegible]

黃金館　[illegible]黑手九人組[illegible]出羽嶽勇藏[illegible]金絲銀絲[illegible]

京城本町　電話五七八　壽座　[illegible]結びの神[illegible]乘合船[illegible]俠藝者[illegible]寶意競べ[illegible]

[illegible]大正館　[illegible]名砲[illegible]長吉長五郎[illegible]白露[illegible]

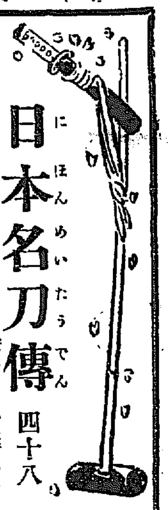
本町一丁目　壽館　[illegible]

結核專門　古賀病院　九州線鳥栖驛前

內科　小兒科　女醫　川崎朋子　京城明治町二丁目　種痘每日（電話長一五〇四番）

汽車
京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 關釜連絡 京元線(北行) 同(南行) 京仁線 京義線 馬山線
[illegible]

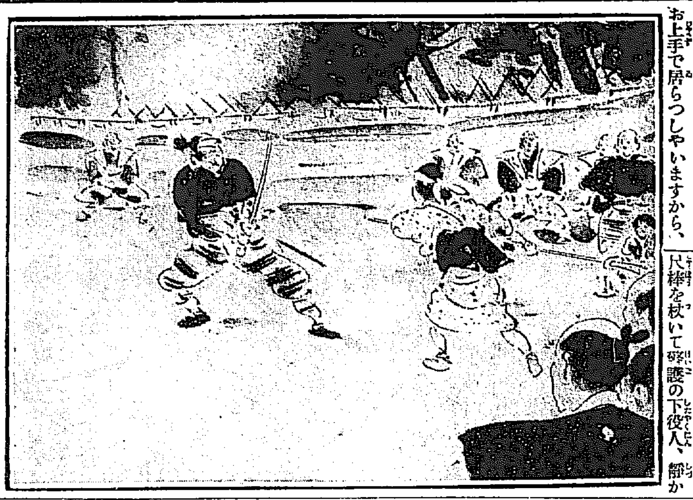
日本名刀傳 四十八



東京 田邊南龍講演

伊勢太郎正俊 (三三)

此事を聞いた國廣の妻おさよの喜びは非常なもの、早速正俊方へやつて來て、せめて廣太郎が十歳にでもなつて居りましたら、仇討と名乘つて出るのでございますが、まだ東西も知らぬ小供のことゆゑ妾が成代つて仇討を致したうございます、此上のお願ひにはごうかお助太刀を願ひたう存じます』正『おさよさん、お前さんに敵討が出來ますか』さ『ハイ、妾も萬一の時の用意と思ひまして一生懸命に力業を致し、劍術の眞似事も少々致しました、妾の親父がお贔屓になりまする鎌倉の武家で井上文太夫樣と云ふ方の奧樣が劍術や薙刀がお上手で居らつしやいますから、



其のお方樣に就きましてごうやら習ひました、一生懸命になりましたら仇を討てないこともございますまいから、宜しくお取計らひを願ひます』正『之りやア感心だ、ごの位出來なさるかちよつと試して見やう』おさよに木刀を取らせ、正俊は向ふへ廻つて相手をする、女でも一心に習つたものであるかなか〳〵馬鹿に出來ない、今度は薙刀を振はして見ると、是亦一段と法に適つて優れて居る、是れなら氣遣ひあるまい、早速おさよの名前で、願書を認めて願ひ出ると惡事をしたものは末には必らず斯うなると云ふことを諸人に示す爲に敵討をお許し相成つた、場所は由井ヶ濱の片傍と定まり、國廣の命日を選み、當日は竹を以て矢來を結廻し、見届役人の席を設けて來へ、牢より引出した長義に刀を與へ、且つお上よりは酒と肴を下

さる、是れは討つ方にも討たれる方にも下さるので、昔からの法でございます、討つ方へは香の物を一切付け、討たれる方へは三切付ける、是れは幸先を祝ふのでありまして、一切に斬れ、身を斬らるると云ふことに附會けたのでございます、双方へ酒食を下されますが何方も手を付けるものはありません、ホンの式許りでありまする見物は七重八重と取卷き、混雜して間違ひがあつてはならんと、六尺棒を杖いて警護の下役人、靜かにくに制して居る、双方の控へたる方へは幕を張り、一方には長義一方には、おさよ、廣太郎、正俊、宗廣、俊道が控へる、折柄刻限來りましたものか、おさよ等の控へました席の傍に備へたる太鼓をドン、ドン、ドンと打鳴なす、長義の控へたる後の方ではヂャン〳〵と鉦を鳴らします、是れも昔から能く考へたもので、討つ方は陽で討たれる方は陰でありますから太鼓、鉦と區別をいたします、ちよつとしたことでも彼方の家は陽氣でドン〳〵と繁昌する、彼家は何だか衰微たらうな、などと申します、ドン〳〵、ヂャン〳〵合圖に連れて檢視の役人は中央に進出で『早川過つて勝負致せ』此の時幕を絞つておさよ長義は出て參る、長義はキヨロ〳〵と何と無く落付かない、おさよを始め助太刀の人々は落付いて居る、おさよは薙刀、長義は一刀を提たへた、長義の姿を見るなりおさよはバラ〳〵ツと小走に馳出だし さ『オ、三郎長義晒吾國廣の妻さよ、伜廣太郎は彼處に居るぞ、夫の敵、父の仇、能くも國廣を殺したな、觀念せよ』長『ナニ、巫山戯たことを云ふな敵呼ばはりは奇怪だ、朋の生意地に殺した國廣、女の癖に小癪な一言、返り討ちにして呉れる』鬼かれ香の小唄、何處迄往生際の惡い惡黨でございませう、長義は惡口を吐きながら、一刀を眞中にかざして『長女、覺悟しろ』斬込み來りビュウ〳〵と風を切つて振廻すこと水車の如く、風車の如し、風車は風の爲めに息吐く暇も無いから早く振廻すのを風車の如しと申します、水車は遲いやうでも水の流れて絶ず間斷なくジタ〳〵と廻つて居ます、夫故油斷も隙も無いやうに刀を廻すのを水車の如くと申しますので、水車の如く風車のやうにと云ふ形容詞も却々面白味がございます、おさよは一心不亂に薙刀を以て立向ふ其の樣子、扱く手、薙ぐ手、開く手、八双十文字ねんぴのおりかけ、虎亂入、千變萬化秘術を盡して揮立つる。

京城長谷川町偕洛温泉前
内科 花柳病科 一般外科
岩田病院
從五位勳三等 岩田末彦
入院隨意 (電話一六二〇番)

漁季

北鮮は不振 ニガリ現る

淸津近海に於ける本春漁業は一般頗る不振にして漁業者の多くは收支相償はざるの狀態にあるが斯く不漁の原因たるや昨年以來極めて稀薄なりと雖も漁業家の最も忌む所の鹹水の淸津沿海に流及せるが主因なるもの、如し而して最近の漁况に見るも當期漁業の大宗たる鰈、明太等何れも大不漁にして只從來一般に度外視されたる蓮川及び良化附近の鰊漁が案外良好にして鮮人漁業者の如きは此漁の網を改良して不完全なる角網となせるものにて尚ほ日々二三十馱の漁獲ありたる由にて蓮川の水揚高は三萬圓に近しと尚ほ昨今鯖の漁獲期々あるを以て漁業者は之れが豐漁を期待しつゝあり(淸津)

五月十九日

(舊)四月二十日 月曜日 かのとひつじ 暗劍殺 坤 西南 ▲大安 ▲張 ▲二黒

▼二黒▲默つて暮すに利ある日也
▼三碧▲物事のはかどらぬ日なり
▼四綠▲不都の起ることある日也
▼五黄▲運氣は吉なれど獨尊主義を執らば思ひがけぬ失敗に遭はん
▼六白▲好きこともあれど一人で我意を張り通すことは不可能の日
▼七赤▲相應に助力を得て發達すべき日なり、萬事に進んで吉なり
▼八白▲有利有望なる日思ひ立ちたることは進んで爲さば成功せん
▼九紫▲願ひ事の叶ふ日なれど身分不相應の願ひ望みごとは叶はず
▼一白▲物のハキ〳〵せざる日也

信用が異ひます

二百萬の愛用者を有する事實と賣行を御比較下さい

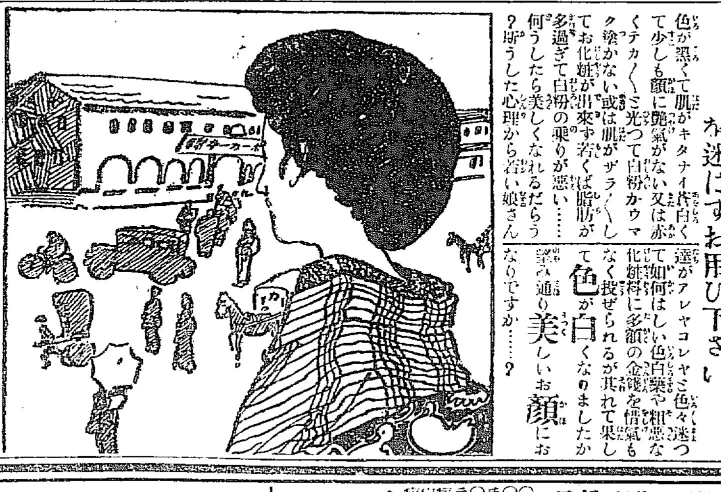
色白く美人となるには

東洋唯一の大化粧品製造元 堀越嘉太郎商店の

ホーカー液只一つ

お迷はずお用ひ下さい

色が黒くて肌がキタナイ蒼白くて少しも顏に艶氣がない又は赤くテカ〳〵と光つて白粉カウマク塗かない或は肌がザラ〳〵してお化粧が出來ず若くば脂肪が多過ぎて白粉の乘りが惡い……何うしたら美しくなれるだらう?斯うした心理から若い娘さん達がアレヤコレヤと色々迷つて如何はしい色白藥や粗惡な化粧料に多額の金錢を惜氣もなく投ぜられるが其れで果して色が白くなりましたか望み通り美しいお顏になりましたか……?



男でも女でも持つて生れた顏の色や生地の底から白く晴々とした色艶とするには身體の色素の根本から一變させる學理上の作用を有するホーカー液より外に斷じて日本にはありません!

信用ある大商店の完備せる試驗部で、數十名の專門學者が幾多の辛酸を嘗めて漸く發明され其の上十數年の長い間世間の有らゆる實驗を經て益々大評判となつて居る

東洋唯一の白味劑
顏料の元祖で、外國でも評判のホーカー液を朝夕お塗けになれば一日〳〵と色白く美しくなることは醫學上受合ひでございます

お買求め方

彼の如何はしい色白藥や化粧品の如く發賣元一軒で取扱つて居るものとは全然異つて日本全國は勿論、世界到處の小間物化粧品店、藥店、雜貨店、荒物店でホーカー液を賣つて居ない店は一軒もありません、其れ丈けホーカー液は世界的信用を有して居るのです、此點をよく〳〵御注意の上名も無い粗惡品に欺まされないやう呉々も御注意を願ひます

定價 小二十錢、中四十錢、大八十錢

ホーカー液の特色
□色を白くキメを細にす
□肌のアレ日ヤケを防ぐ
□白粉下トキ水によし
□髯ソリ後に最も妙
□皮膚を丈夫にす

發賣元
ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髪液 ホーカースヰート
本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店
電話 特長一四一三 長一四四・一四五
振替 東京一五六

專賣特許
娚ひみつ病

生殖器機能障害、發育不完全、神經衰弱、りん病、包皮コシケ消カチは多數博士證明の最新療法器で自宅で安全手輕に速治す留入說明書無代進呈
東京市京橋區木材木町三の廿五 新療法研究所
奉天富士町十一 東和公司
京城西小門 爲信商會

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千四百六拾萬圓
總預金 參億參千萬圓

株式會社 第一銀行 京城支店

京城本町二丁目 電話 二三一・一七番 振替貯金京城一一〇・六一一番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

故李大王殿下御嘉納品

本劑ガ補血強壯料ノ冠タル事既ク世上ニ知ラレテヨリ是ガ模倣ノ偽物ナカラズト雖モ其多クハ尾蔘ヲ原料トセル贋物ニシテ苦味鐵臭シ其ノ效力ハ純良白蔘ヲ原料トシ最新ノ學理ヲ應用セシ本舗ノ品ニ比ス可クモアラズ本品ハ絶對ニ混合物ナキヲ保證ス乞フ是非一度御試服アレ色ニシテ芳香力強ク雅味アリ

○神經衰弱○精力減退○老衰○レウマチス○冷症○肺病○營養不良○ヒステリー○貧血○婦人病○心臟病○腦病○慢性胃腸病○マラリヤ病○病後○病兒ニ應用セラル

上製 十瓦入 一圓 二十瓦入 一圓八十錢 四十瓦入 三圓二十錢
特製 十瓦入 一圓五十錢 二十瓦入 二圓八十錢 四十瓦入 五圓二十錢

特約大販賣店 京城太平通一丁目 京城日報代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番

池田李雄
イケダ小兒内科醫院

京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一二三四番 自宅三〇〇番)

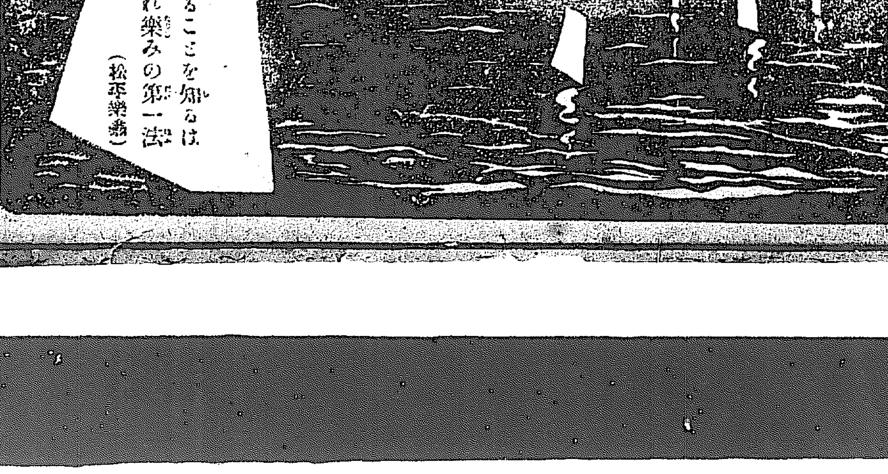
心地よき初夏の氣分を一層・爽快ならしむる

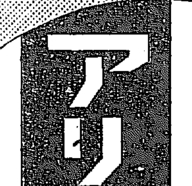
一粒の仁丹

海によし……山に良し……

朝!晝!晩に!

仁丹の買方
▲一貼入 十錢
▲二貼半入(名所カード金言容器付) 二十錢
▲三貼半入(懷中容器付) 三十錢
▲七貼入(四季容器付) 五十錢





同じ召すならホンモノを

アリマサイダー

絶大なる殺菌消毒機にて一本づゝ完全に謹製致居候間數年間の貯藏にも堪へ得べく候

宮内省御買上品

牛乳に混ぜて召上れ 効力母乳以上の

鈴木式 子供印 滋養糖

乳糖類を牛乳に混ぜれば母乳と同樣の効果をなし牛乳の總ての缺點を補ひ又重湯其他乳の代用物に混和して小兒の腸胃を調へ體力を増進し老人病人病後の方に用ひて消化吸收を助け衰弱を恢復す本品は牛乳混和料及小兒營養料として各地小兒科專門の病院にて賞讚を得たり

味の素本舗 鈴木商店 東京・大阪

京城日報　第五版

[illegible]七二噸(四割九分一厘)到着噸數一二七六噸(五割三分三厘)を加へ[illegible]閑散時季なるも戰時中は不斷の停滯狀況を持續し輸送力を中繼貨物入當局の發の二案發せしが戰後に於ける經濟界警戒の過渡期に入る[illegible]二九〇噸收入金壹千七百餘圓を算するの從來の記錄を破るの盛況を見到着貨物も亦內地鐵道の緩調に復すると共に戰時中一般貨物の停滯に制壓せられ荷捌意の如くならず[illegible]にあり一方移入貨物は[illegible]は包裝用品の需要を促進し內鮮土工季節に向ひ木材の入港多數に上り相當活躍すべきか發送貨物中の主要品に就き其の推移を說ふに前[illegible]月より施行されたる朝鮮移出稅の撤廢の氣擇は前年中の不振を挽回し優に二、〇〇〇噸を突破すべき[illegible]二二噸を本年の三九五噸二、〇二五噸に比するに一八九噸九〇三噸の增加にして內地出來秋の引續[illegible]にして最緊切迫前迄仕入順延せし年末の慣習は隨時割安品の買付をなしたる爲め如上不振を見るに至れるにあらざるか其他肥料は依[illegible]の川廻り稍々閑散を告げ比較的輸送の容易となりたると漁場活動期に際會したる等好況を呈せし原因なりとす木材は容器用及建築用と[illegible]に比し六〇噸を增加し陶器は前年の八三噸より一二〇噸に進み共に內地貨物輸送緩和の結果なりとす、砂糖は新年中の見越移入と本年に入り不勞を繼續せしも本月は[illegible]一三七噸にして前年の一〇四噸に比し三三噸の增加なり其他一般好況なり

啓蒙小言(五)

京城日報

張繼等の日支關係論に就て

彼等は日本を以て徹頭徹尾侵略政策を執るものと爲し、遂に左の如く言明せり、曰く

「余等は日本と中國との親交に對し僅に兩國民の親睦を主張する本邦の友人に對し數次余等の意見を說明し日本にして其傳統的政策を抛棄せずんば親善の途と言ふべきなきの理由を說明したるも余等の勸告は遂に其容るゝ所とならず中國人民今や既に忍ぶ能はず唯中國强大の武力なく日本と戰ふの力なきも中國人の日本を仇として恨むの心理は實に日本國家及び國民の前途に滞害の種たらずんばあらず今や歐洲大戰終に熄み列强は漸次極東に注視し來たらんとす東方の强國たる日本にして徒に迷信的傳統的政策の奴隸となり大陸國民全體をして日本に反對せしめんか是れ正に其國家を危險に陷れ甘んじて獨逸の後轍を拜せんとするものなり」

其の言ふ所、好し誤解にもせよ、謬想にもせよ、恐怖の幻影に劫かされたるものにもせよ、支那人、特に從來日本に對して好意を表せる張繼等をして此の如き排日感情を吐露して憚らざるに至らしめたるは、少くとも日本に取りて考慮を要するの成行ならずとせず。有體に言へば從來日本の對支外交は其の行動に就いては隨分非議すべきもの少きにあらず、概していへば日本人の所謂優越權又は特殊の利權に關する觀念は、頗る狹隘にして、何事も獨占的にあらざれば承知せざるの趣きあり、是れ支那人をして脈忌の情を發せしむる最大原因たらずばあらず。此の獨占的傾向は、即ち支那人の目に映ずる所謂日本の傳統政策なるものにて、事實に根源せる理論の價値は絕無なりと雖も、感情の根柢は頗る深きものあるを思はざるべからず。但し從來口を緘して語らず、或は表面ばかりにても親日の態度を取りたるものが、忽ち豹變して公々然排日論を口にして憚らざるの現狀を呈したるは、支那人の日本に對する心理狀態の激變せるを證せるものにして、最も注意すべき點ならずとせず。即ち此の激變を來たしたるは、いふまでもなく國際聯盟の成立を豫想し、是に由りて支那の保全を保障せらるゝに至らば、東方の强隣も復一指を染むる能はずと爲し、將來の日本の行動に對して高を括り居ると、又一方には近時米國が戰時に收め得たる莫大の資本を割き、之を支那に投下せんとする氣勢あるを察し、かたく最早日本に依賴するの必要なきを想像し、思ひ切つたる排日思想を鼓吹するに至りたるものにして、老猾惜むべきなきにあらずと雖も、今更之を如何ともすべからず、殊に北京政府が在巴里講和委員に向つて、靑島還付の明文を講和條約に挿入し、且つ各國の保障を得ば、條約に調印すべきも否らざれば之を拒絕せんとの、全然筋違ひの訓電を發し、日本に對して甚だしく無禮を加へたる如きも、亦此の心狀の變化、之をして然らしむるのみ。而も此の如きの態度は果して支那將來の長計たるべきか、吾人特に之を疑ふ。

彼等の結論は、謬れる觀察を前提と爲すものなりと雖も、其言や比較的に詭謬ならず、曰く

「從來日本の中日親善を鼓吹するや常に同文同種を以て其說となせり然るに日本の傳統的政策は寧ろ同文同種の國家及び民權を脅迫するを以て事と爲す夫れ國家の親善なると仇敵なるとは種族の異同と關係なきにあらずと雖も種族の異同の關係のみとはいふべからず余は個人として日本國民との友誼により貢獻の旨を以て日本國民に告げ根本的に其政治組織を改造し以て傳統的政策を排除し世界の民主的文明の潮流と共に平和を愛し德義を重んじ中國々民をして他日必ず舊怨を棄て以て日本國民と相共に親友ならんことを望むものなり云々」

平和を愛し德義を重んじ兩國の關係を密にするの主張なり。彼等は傳統的政策を一擲せよと[illegible]するも、不幸にして吾人にはさる時合なきを如何にせん。吾人は寧ろ彼等に向つて、其の謬想と、其の誤解と、其の恐怖の幻影を取掃ひ、日本の眞正なる國是と誠意とを看取すべきを勸告す。

吾人將に忠告を草し終らんとするとき、北京變の電報を接手す、曰ふ

「信賴すべき支那大官の傳ふる所によれば徐總統は目下支那が外交上の窮境に陷りたるは支那が講和會議に於て親米排日の政策を執りたる事にありとなし非常識なり」と率直に十分了解し親米論者に對し汝等は餘りにウィルソン氏を過信せり今や明かに汝が唱へたる『米國の援助』なるものが如何に微力なりしかを證明せり米國が支那を援助する程度が徒に口舌に止まり實益を伴はずと抑つて日本の惡感情を惹起せしとは二重に支那を苦めたり故に東洋に於ける支那の立場を確立するには空漠なる遠來の援助に頼らず親日を以て外交方針の中心となす必要ありと力說せりと」

徐總統の覺醒果して眞なりとせば、支那の爲めに慶福せざるべからず、庶幾くば此の覺醒が獨り總統一人のみに止らしめず、遍く之を支那有識の間に普及せんことを(終)

古代史と內鮮融和(一)

山田孝雄氏談

國文學者山田孝雄氏は今回黃海道長松山氏の招きに依り研究旁々來遊滯城中なるが氏は內鮮關係乃至今回の朝鮮騷擾事件等に對して自己の立場より一家の意見を有し其の議論聽くべきもの多あり左に同氏談話の一節を摘記すべし

私が此度京城に來て先づ眼に著いたのは勿論現今の京城の發展と云ふことであるが併し私に取りて最も深い感慨を催したのは此京城の土地こそは御存知の通り百濟近肖古王の都を建てた處で夫は恰も神功皇后應神天皇の頃に相當する即ち千五六百年の昔百濟は日本に附屬して居たので今此百濟の舊都に私が來遊して居るのだと云ふ事實に就て、ある、夫れから次へ次へと聯想を擴大して行くと古代に於る內地と朝鮮との關係當時の日本の國勢等に關する感想の自ら湧き起るのを禁じ得ないのである

さて私は古代に於ては日本內地と朝鮮と琉球とを合して一つの國であつた樣に思はれる、斯う云ふと私の意見は一寸風變りのやうに聞ねるかも知れぬが決して單なる空想ではなく是には相當の據り所がある積りである、第一は言語の方面から見ても內地語と琉球語とは極めて密接な關係がある日本書紀古事記等に書かれてある事柄で今日の學者が解釋が出來なかつたり或は全然解し得ないではないにしても夫が果して適切なるものか否かを確めることの困難なものも一度琉球語を研究することに依つて直に譯もなく疑問を氷解し得る場合が頗る多い、今一例を擧げると蝦夷のことに關して確か古事記だつたと思ふがエミシヲ、ヒトリモヽナヒト、ヒトハイヘドモ、タムカヒモセズといふ歌が今日迄解らなかつた、所がモヽナヒトは琉球語のモヽヌヒト(百人)と同一でヒトリモヽナヒトと云へば一騎當千と云ふが如き意味になり即ちアイヌは却々勇猛であるが併しながら終に吾等には敵し得ないと云ふことを歌うたものだと判つた。朝鮮語と內地語との關係は琉球語の內地語に於けるよりは幾分か疎い、前者が兄弟なれば後者は從兄弟位ではないかと思はれるが此邊は將來の研究に俟たなければ正確に斷言し得ないけれども兎に角近親であるとだけは學者の方で證明して居るし誰でも是に異論は無いことゝ信ずる。一體內地語と朝鮮語に限らず烏拉爾阿爾泰語族の文法は何れも名詞が最初に來て次にテニヲハ動詞を置かれると云ふ具合に其構成法が一致して居る尤も言語と云ふものは人種なり民族なりと必ずしも一致しない場合もある、此場合には同一の言語を用ふるものは其以前文化の共通であつたと云ふことの證明になるのである。例へば今日の滿洲人は支那語を話す、元來滿洲語は吾々の語と同様烏拉爾阿爾泰語族に屬して居るに拘らず夫れを語らずして單綴語族に屬する支那語を用ふるのは今述べた理由に基くのである。が要するに大體論として言語の方面から云つても朝鮮と日本とは餘程近い間柄のものであることは斷じて疑ひない話である。同時に又內地と朝鮮とが往昔或る時代に於て共通の生活をして居たと云ふことをも想像せられる、斯うして琉球と內地とはより以上親しい關係にあつたと云ふことに色々の點から說明せられるのである。是は餘り人の云はない議論であるが琉球と內地と朝鮮とが古代に於て一國であつた證據として當時日向の國に日本の首都を置いてあつたと云ふ一事を有力なる材料として擧げ得られはせぬかと思ふ。

定價 本紙 一部金參錢 一箇月七十五錢 ▲三箇月前金貳圓 ▲六箇月前金四圓五十錢 ▲一箇年前金八圓 ▲郵稅代用二割增
廣告料金 五號活字一行一回金五拾錢 ▲同特別二號七字詰同二圓 ▲三號八字詰同二圓 ▲四號九字詰同一圓五十錢 ▲同六號十七字詰一五
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
電話 編輯局六千九番 一六千九番二 營業局六千九番三 六千九番四 販賣部(京城府外三〇)六千九番五

貯金の方法(六)

野坂總督府事務官談

今や本支店及び代理店の勸誘員及び集金人は八百人以上を算し其の給料平均月額四十圓の趣なれば少くとも每月三萬二千口の貯金者を增加する筈にして其預金總額一億圓の聲を聞くは蓋し遠きに非ざる可し又盛んなりと謂ふべし

(六)朝鮮に於ける實行方法　不動貯金銀行に於ける定期積金吸收の手段は大要前記の如し今朝鮮に於て貯蓄の施設を爲すに當りては先づ第一に此の方法を模倣し左の通實行するを可とせんか

(イ)定期積金は當分の內三年貯金に限ること

(ロ)滿期給付金は百圓以上五千圓迄とすること

(ハ)滿期給付金百圓を以て一口と定むること

(ニ)一口の每月掛込金は二圓六十五錢とすること但し官廳會社及び團體等に於て世話人を置き每月一定の日に於て掛込金の取纏めを爲す場合に於ては之を二圓六十錢迄に引下ぐること

(ホ)途中引出を許さゞること但死亡其の他の不可抗力に因る災害の場合は此の限りに非ず

(ヘ)一年半以上遲滯なく掛け續けたる者及其滿期繼續者には相當の限度を以て信用に依り貸金の融通を爲すこと

(ト)勸誘員及び集金人を置き給料額に應じ勸誘責任口數を定むること

以上は唯實行の大綱を示すものにして之が施行に當りては帳簿其の他の整理に關し猶充分の研究を要するのみならず此の貯金方法は專ら勸誘員及び集金人の活動に俟つものにして之が養成及び其の監督に關しても多大の考慮を要する者あるを以て先づ京城に於て之を試み漸次各地に及ぼすを[illegible]穩當とせずや

錬膽錄

太田道灌　三笑生

◇太田道灌は、始めて武藏野を開いて、城を築いた人として、また文武兩道に秀でた名將として、其の逸事は、多く人口に膾炙されて居る所である。

◇彼れは、敵の反間によつて、不幸其主上杉定正の糟谷の第に殺された。其時屈强の壯士數人、彼れを浴室に襲うて、不意に刺したのであるが、其時彼れは些も騷げる色なく、靜かに槍を握つて、

　昨日まで　まく妄執を入れおきし　へむなし袋け　ふ破れけり。

と絕命の辭を遺し、笑を含んで瞑目したと傳へられて居る。

◇昔、支那の瑞巖和尙は、常に自ら主人公々々と呼び、又自ら『應』と返事をして居つた。主人公。是れ何物ぞ。各人常に主人公惺々たるを得ば、禪を學ばずとも、禪體中に圓かなりと云ふことが出來る。太田道灌は、夙に此の主人公の公案に參じて、大いに禪機を長養し、以て潑溂たる面目を諸方面に煥發したのであつた。

◇彼れの師事したのは、靑松寺の雲岡舜德禪師であつた。禪師は瑞巖主人公の公案を示して工夫せしめた。道灌退いて看話鍊心すること三年、苦思蔣心、未だ入處を得なかつたが、或日越生に出遊して、一人の老翁に逢つた。道灌が『お前は何處の人か』と問ふと『京都の者でござる』と答へた。『京都の山川と此の地と孰れがよいか』といふと『山川土地は姑く措いて唯鍾聲のみあつて異ることはござらぬ』と答へた。道灌は、此の輕妙な答によつて、翛然として省悟する所があつた。かくて彼は禪師に參じて、主人公の公案を透得し其印可を得たのであつた。彼が苦心修養の面目を見るべきである。

◇惺々たる其の主人公を、最後まで味まさなかつた彼れの心膽には、斯の如くして夙に生死透脫の機を得了したい、深き根底のあることを見るべきではないか。

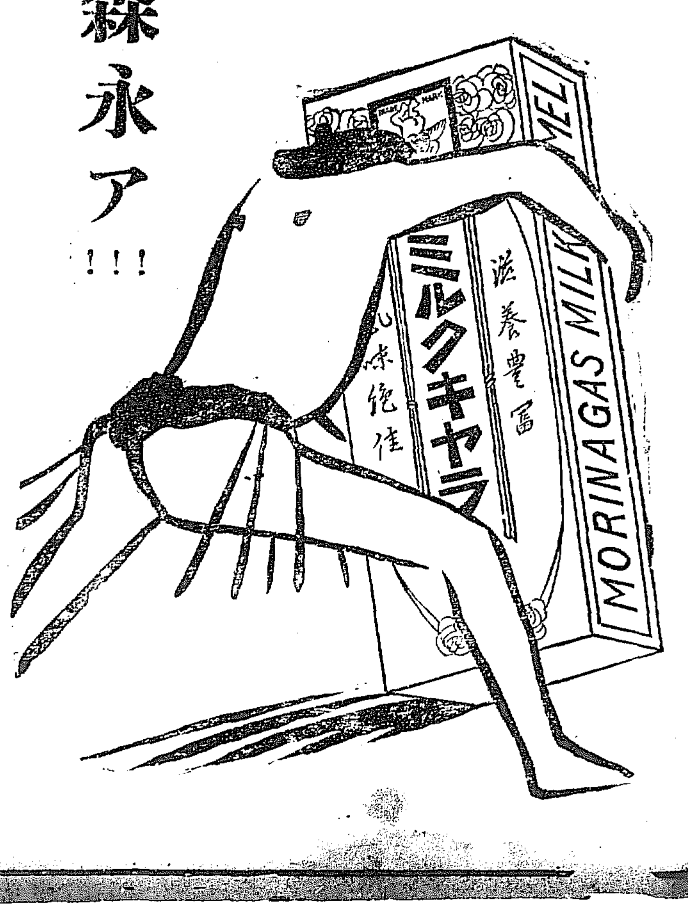
武俠世界 臨時增刊 相撲畫報
端麗無比 原色版 ◇新大關對馬洋 ◇大阪常網大綱 ◇新關脇常の花 ◇若手力士勢揃
寫眞版卅餘頁は悉く角界の珍品
▲取的物語 ▲待つ仕切の話 ▲雁たた浴衣丈け
本日發賣 拾參大角 通の相撲合評
雜誌店に 品切の節は 直接 註文を乞ふ
◇九州山十郎に　◇三年で幕內に
幕內力士星取表
角界の大關對馬洋 角技の東西力士 ◇其他興味ある記事を滿載す
▲相撲人國記 ▲相撲番附
定價六拾錢 郵稅貳錢
東京上野櫻木町 振替東京三〇六〇番 武俠世界社

京長乘合自動車開始廣告
今月一日より京城長湖院間乘合自動車營業を開始致候間旅客諸位は速く愛顧なされん事を希望す
黃金町二丁目壹百八拾壹番地
京長自動車商會 告白
電話一八八九

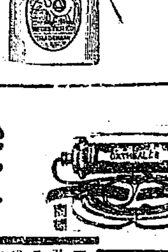
人情俱樂部
六月號出づ　大變な景氣
南地情話 パノンの一夜
生首御意見
藝妓 お惚氣帳
情話 十行浪子浮名聞書
藝者艶戀 梅蘭芳
鈴鹿峠
妖婦陰謀 中國物語
蛇屑の娘 松葉ちらし
はぐれ鳥
小松原
大人情座興行
櫓落と投島田
花見芝居評判記
心中した男の話
定價一冊四十錢
發行所 人情俱樂部

古本と古樂器買入
京城本町 ウツボヤ書籍店

雅辯家養成 演說講習錄 高楠威
卒業者に稱號を與ふ
東京赤坂丹後町 日本青年通信社



新發明 ホゾート 點火自在
押せば蓋が自動的に開くと同時に點火する理想的點火器



◎ホゾートは金屬製優美にて永久使用に耐ゆ
◎ホゾートは絕對安全使用上頗る愉快なり今や歐米に於て盛に流行しつゝあり
◎旅行用は勿論紳士方の日常缺くべからざる携帶器なり
美術紙箱入金九十五錢送料十二錢
見本入用の方は弊舍振替大阪一八五四六番へ代金御拂込を乞ふ
發賣元 榮商會 大阪市西區新町通二丁目 電話新町二四二 振替大阪一八五四六番
至急 特約店代理店募る

酸素療器
オキシヘーラー
▽(邦文支那文)實驗說明書贈呈△
▼オキシヘーラーの驚異なる事使用僅か五分間を出でずして三乃至五ミリの血壓を亢め一時間を繼續すれば實に十乃至三十ミリの活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て驗せば其調節の狀を明にし又各自は脈搏、呼吸の整調に依て自覺せらる
▼靈妙なる酸素應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに卒前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏强實となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也
▽特色(使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永遠に何等費用を不要)
■正價金參拾五圓■ 改正送料 內地金參拾六錢 支・朝・臺・樺金六拾五錢
東京市牛込區築地町三十一番地
オキシヘーラー奬勵會
電話番町三〇七〇・四六八九番・振替東京二七一二番

かつけに 尾崎糠精
藥學ドクトル村井弦齋先生命名實驗證明
販賣元 尾崎弟兄商會 東京市中澁谷町
●全國各藥店にあり●

◇聯國讓歩か
獨逸は結局調印せん

十日巴里發外電によれば獨逸大統領エベルトはベルリンに於て宣言を發し獨逸は聯合國の講和條件に對して反對の提議をなすべく聯合國の條件は實行不可能にて容認すべからざるものなりとなせり其の目的は大部分對內策を含み幾分講和に對する懸引を意味せる以外多少眞意を表白せるものといふべし聯合國が講和の不調を欲せざるは事實なるも獨逸は是れ以上殆ど開戰不可能なると眞實なり隨つて講和は多少曲折を免れ難きも結局獨逸は調印を余儀なくせらるべしとは一般に觀測せらる、而して獨逸の反對提議を認むるや否やに就ては五大國會議に於いて講和條約は絶對的のものにて寸毫も獨逸の容喙を許さゞる事に決し居たるが最近の情報によれば幾分獨逸側の希望をも斟酌する事と變更せる模樣なれば獨逸の提議を一應五大國會議の審議に附する事となるべしと（巴里電報）

◇フユーメ解決經緯

伊太利講和委員は遂にフユーメ問題に關して米國大統領と意見の衝突を來したる結果巴里を引拂ひ歸國したるが去る五日首相オルランド、外相ソンニノ男の兩氏は巴里に歸還し翌七日の對獨講和會議に出席したるを以てフユーメ問題は英佛の調停に依り既に解決を告げたるもの、如く而して其の內容として傳へらる、處によれば五大國會議は伊太利に對してフユーメ港を四ケ年間伊國の委任統治の下に置き其上にて絶對領有權を與ふべしとのことに決定したりとも云ひ或は四ケ年後に於ては人民投票によりて所屬を決すべしとも稱せらる、が何れにせよ伊國との間に了解を得たるものと推するを得べし而して四ケ年間國際管理となしたる理由は其間ユーゴースラブの感情を融和することを得べしと認めたるものならんと而して若し四ケ年間に於て人民投票によることするもフユーメの住民の六割餘は伊太利人を包含する點より見るも過般フユーメ市民が伊太利との合併を議決通過したることに徴するも伊太利に取り有利なる歸結を見るは殆ど疑ひを容るる餘地なければ伊太利もこれを容認せるものなるべし（巴里電報）

◇對墺條約綱要

聯合國の對墺太利講和條約完成せるが其大要左の如し（巴里電報）（一）國際聯盟規約（二）獨逸系墺太利國境條項（三）陸海軍條件（徵兵制廢止並に墺國軍艦引渡し等を含む）（四）匈牙利領域縮小（五）經濟條項（六）墺匈國は第一回賠償金支拂後分離する事（七）戰爭法規違反の行爲ありたる者は軍事裁判に附す（八）墺匈兩國は海への出口を與へらる可し

◇ラ伯覺書提出

ランツアウ伯は來週中伯林に歸還し獨逸政府の講和對案を携へ再びヴエルサイユに來る可きに就き豫め口頭にて商議を爲すの目的にてウイルソン氏と親しく會見せん事を申出でたりラ伯は又クレマンソー氏に對し二通の覺書を提出せるが第一覺書に於ては聯盟國の要求は如何なる國民も負擔する能はざる性質のものなりと言ひ第二覺書に於ては次の如き質問を爲し居れり『獨逸が調印を要求されたる講和條約は國際聯盟規約を含むに拘らず未だ該聯盟に參加す可き案內に接し居らず獨逸は果して如何なる機會に於て國際聯盟に加入す可きか』と（巴里電報）

◇解決手段一　あるのみ
獨逸委員ギーベルツ曰く

獨逸講和委員ギーベルツ曰く講和條件の卽時解決手段は唯一あるのみ露國と講和し過激軍を獨逸に利用するのみ（伯林十日電報）

◇調印可否如何
山東問題と支那輿論

山東問題に關し講和條約に調印すべきや否やに就ては政界の意見區々にして決定せず近く衆議院の大會に於て正式決定を俟ち巴里講和委員に訓令を發する筈なるが今調印を可とするものゝ意見を綜合するに日本が屢々青島の還附を宣言せるに今若し調印を拒絶するが如きことあらんか青島は永久日本の手中に歸し再び支那に還附さるる希望を失ふのみならず其の時に及んで各國に調停を依賴するも最早其の詮なかるべし日本が講和條約の調印を楯にして列强を動かす場合に調印せる我國は如何ともする能はざるべく而のみならず調印せざる場合には更に支那の希望する條件即ち駐屯軍撤退領事裁判權撤廢關稅自治權等も惡影響を蒙るべしこれに對し調印を否とするものは一度條約に調印せんか日本の山東に於ける權利を確實に保證することゝなり還附は單に名義丈に止まり領土の主權は殆ど奪交同樣となるべく斷じて調印を承認すべからずと（東京電報）

◇日貨排斥否決

武昌漢口商務總會にて日貨排斥を提議する者ありしも國內紛亂商務萎靡の際斯る行動に贊成する能はずとて否決されたり（漢口電報）

◇コルチヤツク政府承認　通告

日本は聯合國にコルチヤツク政府を承認せんとする旨通告せり（倫敦電報）

◇我外交陳述書　發表

十七日午後內田外相は外交に關する陳述書を發表し世上徒らに無稽の言議を爲し又は聯合各國の感情を害するが如き所論あるに顧み帝國政府の國際的立場を明らかにす可しと（東京特電）

◇梨本宮殿下

梨本宮殿下には立花軍司令官に對し軍務申告の爲め廿五日旅順御着第三十五聯隊御訪問の上二十七日御歸任の趣き拜承す（大連特電）

◇林關東廳長官

林關東廳長官は梨本宮殿下奉伺の爲め十六日午後八時遼陽に赴きたるが十八日午後歸任の豫定也（大連特電）

◇立花軍司令官

立花軍司令官は十六日午後七時大連發遼陽に梨本宮を奉伺し十八日歸任の豫定なり（大連特電）

◇滿鐵社長一行

滿鐵野村社長中西副社長片山、松本兩理事は大連長春間沿線視察の爲め十八日夜大連發二十四日歸任の筈（大連特電）

◇農商務省官制　改正發表

農商務省官制改正は十七日の官報に發表されたるが其大要は（一）局分離（二）鑛務署長に技術者を採用し得るの件（三）鑛山監督署新設等にて官營製鐵所官制は之れと共に發表さる、豫定なり（東京特電）

◎總督府豫算　編成繰上
七月末日迄

朝鮮總督府豫算は從來八月乃至十一月迄に大藏省へ回附の事と成り居れるも事實は常に遲延勝ちなるが來年度よりは總督府豫算編成繰上の都[illegible]

[illegible]が至當の事と思ふ元來滿鐵は滿蒙內部利源の如く外に向つて發展すべしとは內外人の等しく思ひ居れる狀態で宜しく北支那の利源を速かに開發し以て福利の增進に資する爲めに既得鐵道敷設權の實現を速かにし又

◎既設鐵道は是非能力以上の計畫を樹て建設改良に鋭意する事が滿鐵として自己の使命を全うする所以であらうと思ふ現在の滿鐵の施設を見るに其最も重要であるべき鐵道に對しては割合に冷淡であつた第一首腦たるべき理事級に鐵道の權威者無く鐵道の事は課長級以下で取計つて居たと云ふ事實は鐵道會社と銘打つた滿鐵として寧ろ不審に堪へない次第で然も世人も同社も此不思議を不思議とせざる有樣である事は尙當を得た事とは云ふ事が出來ない現在の滿鐵幹線に滯貨を一掃せしむるだけの充分なる改良を施す事のみでも優に

▲一億圓の　巨費を要する大事業である斯樣な大きな鐵道經營上の緊要事の多くを有しながら其本務が種々な附帶事業の煩ひの爲め疎かにされると云ふ事は吾人の採らざる所である宜しく進んで之を他に委ね所謂荷を輕くし進む可き所へ進む事が必要では無いか

◎京城客月商況

京城に於ける四月中の商況に就き京城商業會議所の調査によれば米穀は

▲前月暴落の　後を受け月初めに於ても依然軟弱の氣勢なりしが其後內地の期正米高と地方の好勢とに伴ない漸次强氣配に轉じ上旬頃には玄米三十二圓內外のもの中旬には三十三圓四五十錢月末には三十四圓三十錢に騰貴し月末には內地よりの買註文も相當に入り込みたれば米界は愈々好調ならんとするも昨以來の不況に加へ前月暴落の大打擊を受けたる後とて商談纏まらず大豆は手持品何れも高値勝ちにて市況不味の裡に推移し相場は普通品十四圓乃至十四圓八十錢を示し牛皮は

▲露貨暴落の　爲め西伯利方面への輸出全然杜絶となりたるも一方在荷不潤澤に依る內地筋の買覗き彌々現はれたれば相場は幾分上伸の氣味ありて大皮七十五圓五十錢中皮六十八圓小皮八十二圓の平均値を示せり次に輸移入品の大宗たる綿絲布類は前月來各地の騷擾並に鮮商閉店の惡影響を蒙り一時悲觀せられたりしが當月に入り市內の閉店鮮商は一齊に開業するに至り地方筋の買覗きも現はれたると同時に一方手薄筋の買進み並に內地の高値配等に刺戟されて市價漸次恢復し三A和金巾最低價額三百五十五圓より

▲最高價額　三百七十八圓に上り双女綿綿十手最低價額三百七十圓より最高價三百九十圓に達し賣行も中旬後は休業の反動にて稍良好となり尙ほ季節物たる麻布は輸來非常に暴落して一時取引杜絶を唱へたりしも綿絲布の恢復と共に漸次幾日の高値に戻り其他の諸商品も市價の引戻りに依り大に安定を得たるも未だ取引完全に行はれず一般商況は當月を通じて稍々前の鈍に[illegible]

◎總督總監臨場

十八日午前十時より開催さるべき乘馬會春季大會には長谷川總督山縣政務總監臨場の筈なり

◎寺伯趙子見舞

藤波通譯官は前總督寺內伯よりの來電に依り十七日午前九時趙重應子を永樂町の自邸に訪問し親しく見舞の意を傳へたる由

◎滿鐵事業の　分離說
趣旨は可なり

滿鐵の拓殖事業の一部分を東洋拓殖會社の經營に移し炭礦製鐵所地方行政を分離し滿鐵は鐵道經營に全幅の

▲努力を竭　すべしとの說に就き某要路者は語つて曰く朝鮮總督府は朝鮮內に於てのみ東拓を監督する事になつて居るが其以外には中央政府の監督權內にあつて勿論此問題に就て總督府が意見を挾む可きでは無いが其主意に於ては甚だ贊成である又斯くある可き

◎在間島朝鮮人へ警告

左に掲ぐるは間島在住朝鮮人が這回の騷擾に際し世界の大勢に通ぜざる朝鮮人の輕擧妄動を戒め[illegible]

▲獨立黨諸君よ　事の成功を企圖するには充分なる成算と實力とを有するに非ざれば其の緒に就き難きこと言を俟たざる所にして若し自己の實力と計算とを以て完全なる結果を擧げたる場合は之に對し相當の[illegible]

▲利己的の事業　を行ふ者

[illegible]

▲實力ありや否　や[illegible]

椎尾辨匡師講演會

宗教大學教授文學博士椎尾辨匡師今回京城淨土宗開教院創立二十年記念法要修行の爲め來城せられたるを機とし名士御懇意なりし左記に依り一場の講演を請ふ事となりたるを以て振つて來聽あらん事を希望す

時日　五月十九日午後四時二十分
場所　南山町京城高等女學校講堂
演題　公正雄大なる國民

主催　朝鮮教育研究會　朝鮮新聞社　京城日報社

▲大引値段と　今合せて[illegible]

◎京仁電話減少　京城仁川間市外通話數は京城郵便局の調査によれば三月中旬頃京城發著一日平均千五十通話にて四月同期は一日平均八百五十通話に減少せるが原因は仁川米豆取引所立會中止にあるべし

▲騷擾を停止し　各自正業に從事せん[illegible]

◎大澤商會變更　京都市に本店を置き內外商品の賣買其他の業務を營む大澤商會（資本金三百萬圓）は從來個人名義を以て經營し來りたるが今回組織を變更し株式會社と爲し支店に名義變更の要あり豫て許可申請中の處五月十六日附許可の指令ありたり

◎現株市場細則
十六日提出
賣買の內容

目下顧中なる株式會社京城現物取引所の營業細則案は愈々昨十六日京畿道廳に提出されたり右に關し發起人某氏の談を聞くに

▲前場及後場　の二回の立會は[illegible]なし而して午前十時午後二時と定めたり收引賣買を爲すべき有價證券は本所の指定したる一、朝鮮內地及び滿洲其他諸外國の國債證券地方債證券二、會社の株式社債券等に限り[illegible]

▲株式は十株　其他有價證券[illegible]

人事消息

▲杉山關東廳事務總長　十七日夜釜山着東上
▲島一道院校監　同上（釜山特電）
▲谷口長一郎氏（工學士）十七日夜入城
▲宮崎嘉一氏（三井物產天津支店長）同上

鳥瞰錄

支那では講和委員の選任を誤つたと[illegible]

運動界　京城南北[illegible]

大阪株式市場電

大阪期米特電

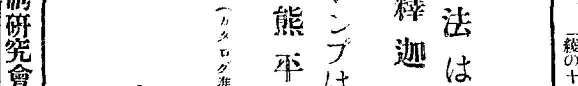
大阪三品特電

◇人の氣づかぬ
有望職業
[illegible]

謹告
私儀從來經營の西[illegible]農場今般知人熱誠なる志望に對し全部讓渡し靜養致居候該事業經營中は萬事一方ならぬ各位の御援助を忝ふし感謝に絶へず候猶別途事業經營の希望も有之候得者今後共一層の御助力相仰度乍略儀紙上右御挨拶旁々如斯御座候
曾禰又男

立木入札廣告
桃　十年生　百五十本
梨　五年生　二百五十本
ポプラ　五年生　二百五十本
右訓練院內小學校東側所在本月廿日正午十二時現場に於て入札即時開札仕候
京城黃金町三丁目　電話一四三四　阿藤新太郎
電話一四〇七　山本德兵衞

タイムを貴重せらるゝ諸君は弊店發賣の確實なる時計を
丸形振玉なしの極上等掛時計が澤山入荷しました御用は如何ですか
村木時計店
京城本町電話四七一　振替京城三壹九〇

特約店募集
春は來た野に山に
海に來た晴れ〴〵と
外出に忘れ給ふな
事務にも學事にも
萬年筆のワシントン
目錄進呈
京城府南大門通一丁目　鮮滿發賣元　宮川大學堂　電話長二九五九　振替京城一壹二八


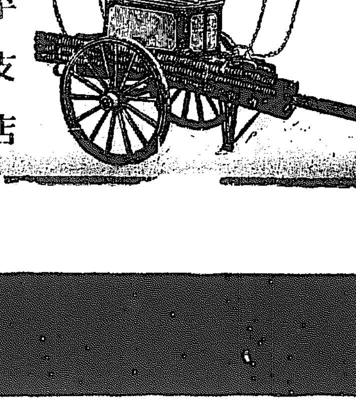
廣告
株式名義書換停止
當會社定款第十八條の規定に基き株主總會終了の日迄株式名義書換を停止す
大正八年五月十三日
群山府　鮮南勸業株式會社
株主各位

三ツ矢　サイダー　平野水　オレンジ
宮內省御用達
帝國鑛泉株式會社

福井の羽二重　輸出
極上等の絹織物でお羽織の肩裏御召物の胴裏なぎにすべてスベリがよくて御丈夫で何とも言へぬ著心地のよいものであります

白二羽重がモスよりお安く買へます

新荷著　大巾　壹尺
松七　四十七錢
松八　五十一錢
松十　六十二錢
目の九　五十五錢
綾の十　六十七錢
●是非一度御來觀を願ひます
●御報次第御持參致します
京城本町三丁目　玉屋本店　電話一七五二番

佛法は釋迦に
ポンプは熊平に
（カタログ進呈）

京城　熊平支店
電話長六二四番　電話三一二五番　振替京城二二番

日鮮大
法制研究會編
文官普通　判任見習　雇員巡査
試驗問題集
●菊半形紙數二百二十頁●定價金五十錢●送料四錢
本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の應試者の爲めに大正元年度以降最近に至る迄の前記登用試驗問題を蒐集し多數の應試者をして試驗の狀況及程度を知らしめ必勝の幸福を與へんと欲して編纂せるもの應試者諸氏の此書を通覽して其適否を研究せらるれば得る所勘少にあらざるべしと信ず
發行所　京城本町　振京一式一參　ウツボヤ書店
賣捌元　京城大平通　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

庭球戰

十八日物産コートで 兩軍の陣容

…で決戰試合が擧行される兩軍は鐵道、医城、大和、京龍、一銀の五俱樂部で内藤中川池原立見井田大…久し振りに肝を握るやうな大試合が見られるだらう

▲野球試合　京城俱樂部は…

▲曹洞宗別院　若草町、十八日午前十時より兩學會午後二時より日曜學校二十一日午後七時より參禪は(毎月一の日の例會▲メソヂスト教會(旭町二丁目)

◎遊びがてらの愉快な見學

仁川へ、婦人も令孃も仁川へ

朝鮮一の觀測所築港を見た上軍艦拜觀の計畫

男子方の視察團や見學團は京城でも度々催されますが未だ御婦人や令孃方の見學團の企てられた事を耳にした事がありませぬ今日の御婦人や令孃達が智識慾にあこがれて居らるゝ事はお讀みになる書物や雜誌を調べて見ましても充分に分ります此處で我社では茲に婦人見學團と云ふ最も新しい高尚な試みを企てたのであります恐らく此の興味ある有益な企ては婦人令孃方に、

必ず熱誠なる歡迎を受

ける事であらうと窃に期待して居る次第であります何うか奮つて御參加をお願ひ申します今回見學場所を特に仁川に選んだのは仁川は今や梧桐の花盛りで海に春花よりも樂園でありますし其の美麗な花や眺めつゝ見學をしますのは愉快な一日の清遊の内に知らず〱最も有益な必要な知識を得る事が出來るのですから之れ程結構な事はありますまい又此の機を利用して其の自由行動の時間には仁川の知人を訪問するのも妙でせう見學の場所は廿一日午前十時五分汽車で仁川に下車しまして其れから測候所に參ります仁川の觀測所は朝鮮では唯

一箇所しかない測候所

で可愛らしい小松山の坂を上つて參りますと眺望は次第々々に展けて來まして仁川港方面は一時の内に入ります初夏の太陽に輝いて白い銀線の様な軌道や彼方の丘の西洋造りの家や青い麥畑や眞に畫にある様な景色であります觀測所の見學が濟みますと今度は朝鮮一の築港を見更に碇泊中の驅逐艦朝潮、朝霧二艦をも拜觀し度いと云ふので只今交渉中であります何れ詳細は夕刊で發表いたしませう。

◎若き女の入水(三)

歸郷の理由は結婚問題の爲め

治一とは許婚同様の仲

然し兩人は互ひに嫌つて居た

彼女の辯明は眞か否か

森川氏と記者との間に、次のやうな問答が換はされた。

『靜子の一身上の問題と云ひますと……?』

『本人の言ふを搔い摘んで言へば斯う云ふ理由になるのです。靜子は永い間市川家に養はれて來た。ところが市川家には今一人清水治一と云ふ二十一歳になる青年が居る。その青年も小さい時から

◇或る事情の

下に市川家に養はれて居る。そして二人は行々は夫婦となるべく約束されて居た。然るに不圖したことから二人の間が面白くないやうになつた。つまり互に憎みこそせぬが嫌ひになつて了つた。そこで靜子は男と同じ家に居るのが辛さに看護婦を志して首尾よく試驗に合格したのであるところが愈々生徒として入學する以上、

◇身元保證も

要れば戸籍謄本も要る。そこで家の主人たる市川雖氏に保證人に立つて貰ふことや戸籍謄本のことに就て相談したが市川家ではなか〱相談に乗つて吳れなかつた。それでも漸くの事で入學の手續きだけは濟んだが、一方では靜子の結婚問題が持ち上つて居た。と云ふのは、市川家の人々は靜子が看護婦になつたことに不贊成でもあり又

◇靜子の將來

を思つて治一と一日も早く結婚させたいと思つて居た、その爲め主人の森川氏は先日來郷里に歸つて兩人の親同志に相談中である、然し乍ら本人達は互ひに嫌つて居るので此儘に放つて置けない、それで一旦歸郷の上親同志にも事情を打明けて根本的に問題を解決したい、斯う云ふ理由でしたから

◇休暇を與へ

ることになつたのです』

『お話の様子では、靜子は市川家とは相談もせず、つまり專斷で看護婦を志願したやうになりますが……?』

『或はさうだつたかも知れません』

『入學の成績は如何なところです』

『八名の合格者の中で二番でした』

『學歴はどうなつて居ます?』

『茲に履歴書がありますから御覽下さい……』と示された

◇履歴書には

郷里の杉掛小學校を卒業後暫らく獨學をして大正五年には名古屋裁縫女學校に入學し同六年に退學後渡鮮し商業簿記の勉強中だとの事項が書いてあつた

『性質は如何思はれます?』

『一口に云へばテキパキした女。怜悧な女でせう』

『容貌は?』

『まア美人に屬しますかね』

◇『秘密を持つた女のやうに見えましたか』

『否ら些こもそんな氣振りはありませんでした、醫院内の者でも靜子が戀の秘密を持つて居たことや死を覺悟して居たことを感づいたものは一人もありませんでした』

森川氏もこの話の要領は以上のやうなものであつた。ところが靜子と市川家との關係に就て疑問を起さねばならない或物が記者の眼についた。

開教院の梵鐘曳初
(上)本町通りを曳き出す處
(下)行列中の稚兒

◎美しい稚兒行列

浄土宗開教院の梵鐘曳初式

淨土宗開教院に寄進された梵鐘の曳初め式が十七日午後三時から擧行された美しい花御堂の中に安置されて牛車に載せられた梵鐘は京城郵便局前から電車通りに沿ひ黃金町、永樂町、大和町一丁目と順路を開教院に繰込む

◇折柄の快晴に押し返すやうな人出の中を紫色の宗旗三旒を先頭に甲冑の武者一人次に龍人信徒が紫白段だらの曳綱を握り聲高々と念佛を唱へつ、進む其後から金色の天冠に紅白の裝束を著け蓮華の花を手にした眼の醒めるやうな稚兒衆が約五十人ばかり介添の母親達が差し掛けた日傘の下を靜かに練り

◇續いて龍山大念寺觀音講員、淨土宗婦人會員、僧侶、信徒總代數百名が足取緩やかに進む殿りは僧侶、一般檀信徒で開教院に到着したのは四時三十分であつた

◇梵鐘は直に本堂前に安置され嚴かな回向の後木の香新しい鐘樓に目出たく納まつた

◎珍らしい白鷄

李王家へ獻上

鳴鷄の本場たる郡闘縣の令村幸三郎氏は今回珍鷄數種、鳴鷄、珍奇純白色鷄、半白鷄等多數携へ來り觀覽の意味より本町一丁目清光館に於て一般同好者に觀覽を乞ふ事となりたるが當同氏は之を機こして純白色鷄一番を李王家へ獻上する趣なり

◇この頃の見物 聞物

活動寫眞の競爭 終に三館協定

西季を通じて此の頃と秋が一番好い季節であるが、是れから先になると最も暑苦しくて不可ない、唯今壽座では女優を中心とする時代家一行が公演中である、喜劇に連鎖劇に所作事に活動寫眞にと

御馳走澤山

それに華嬢の濃艶な舞臺姿と奇妙な藝風が人氣を喚んで、毎夜爪も立たぬ程の大入を占めて居る、所作事は一座の少女連が遣るのだが却々達者い

西洋物專門

の活動寫眞位入りのある興行はなからう從來大勝を占めて居つた有樂館がなくなつたのは惜しい事である、聞けば西洋物ばかりでは何うしても京城では、ら驚異が持てぬ相な、京城も廣いやうでまだ案外狹いとは去る通人の述懷だが或は然うかも知れない、有樂館の跡は喜樂館と變つて、主として日活映畫を上場して居るが此日活映畫は大正館でも上場して居るので、自然

兩方が競爭

の形ちとなり、ドチラも入場料をウンと割引して負けず劣らず客の爭奪に努めて居た、黃金館は右二館の競爭を他所に超然として平日のやうに營業して居たが、流石に競爭から來る弊害を悟つたと見え、十七日から三館協定の上一樣に階上四十錢階下二十錢と云ふ事にした、從つて是からは結局

寫眞の好い

處が勝を占める事になるのであらう、浪花館よりは日下虎丸の浪花節で好評を博して居る、よりは餘程達者だと頗る好い加減な二代目…居る、此連中の前には此間來た雲右衛門など、宛で眼中にないのだから面白い

◎趙子爵へ御見舞品

李王殿下より

李王家にては子爵趙重應の病氣御見舞の爲め十六日午後元事務官を差遣せられ御菓子折、果物一籠御賜與ありたりと

◎朝鮮一の高段者は 肝付六段

二段 小田省吾氏談

十八日講道館京城支部で擧行する紅白試合は月次例のもので全鮮から集まると云ふ大規模のものではないが參加會員四五十名から有る當支部の指南役としては山下七段が始め磯貝永岡兩七段もあるが此三人は平常は東京の講道館にゐて折來られるに過ぎない在鮮の段者は肝付六段が一番で此の間も支部で親しく指南して居たが殘念な事には其後大田に轉任して了つたし京城では當の處先づ岡村四段で次は三菱の佐藤三段、齊藤三段、西大門監獄看守長の渡邊三段である當日は昇段に東京からの通知に依るから遲くなるであらう學校では京城中學校が頗る頻に初段者數名を持つて居る其他京城工專醫專等にも初段が一二名宛は居る

◎猿も木から

十五日午前十一時青葉町三丁目に於て京電運轉手見習ひ梁在熙(二二)が會社へ出勤の途次貨物運搬用電車十二號に無斷便乘せんとして誤つて墜落し顏面其他に重傷を負ひセブランス病院に收容されたり

今般奉天支店に轉勤仕候に付ては一々御暇乞に拜趨可仕筈之處取急出發仕り欠禮之段御諒恕願上候　敬白

大正八年五月十八日　小生儀　笹岡一貫

◎椎尾博士講演

宗教大學教授文學博士椎尾辨匡師は十七日午後七時五十分南大門驛著列車にて入城したるが氏の講演日割左の如し

▲十八日午後三時半開教院にて午後八時同上▲十九日午前十一時中學校にて午後一時半高等女學校にて午後四時半分高等女學校にて(南部朝鮮教育研究會主催)午後九時開教院にて(淨土宗青年會主催)▲廿日午前十時善隣商業學校午後一時十一時聯隊にて下士卒午後二時半同隊將校室にて將校及同夫人午後四時三十分鐵道俱樂部(軋友會主催)

◎物價は何故下らぬ

農民勞働者の購買力が依然盛んなのも一原因

大戰が止めば諸物價は漸次低落すると云ふ豫期に反して休戰後已に半年餘を過ぎた今日猶ほ昂騰の如き下落したのは稀にはあるが大多數の物價は寧ろ昂騰の趨勢を呈して居るか某經濟通は語る『物價が豫期に反して騰貴するのは要するに國民の購買力が減らないからで購買力の中心は云ふ迄もなく農民で米價昂騰の爲め農民の懷中は頗る温か日用品の外思ひ切つた奢侈品迄も買入れると云ふ

今後は物價

は何うなるこ云ふに

上々の景氣

又一般の勞働者も引續き忙はしく失業者なきは甚だ少い從つて之等階級の購買力も中々盛んである又世界一般に物價の高いのも一の原因に違ひない歐米各國は過去五年の大戰で生活上總ての物資が缺乏勝ちで需用が嵩む結果相場が高く之れに日本の物價にも影響する即ち絹二重其他絹物など

意外に高い

のもこれが爲めである又日本の商取引の惡習慣から總ての商品が製造元から小賣商人の手に入る迄には卸し又は仲次等二重三重の關門を潜るので元價は下つても中間商人の掛引で安く賣らぬのも一原因と思ふ之で見ると當分物價の安くなる見込みがない何うすれば低落するかと云ふに

中心は米で

米價が下れば必ず他の物價もこれに伴れるのであるから米の低落を考へるのも良法である夫れには先頃中宣しかつた外國米又は代用食品を食するやうにして内地米を喰餘すのが何よりである咽喉元過ぐれば熱さ忘れるで近頃代用食の代の字を云ふ者がなくなつたのは遺憾である』

◎鮮人表彰式

産業功勞者二名へ 銀牌を授與

十七日午後一時より府學校組合議事堂に於て産業功勞者李昌林、安潤福の兩名に對し表彰式を擧行したが金谷府尹は一場の挨拶を述べた後産業獎勵資金により松永道長官の祝辭李昌林の答辭などがあつて表彰状と銀牌各一個宛を授與し更に二時閉式を告げたが流石に兩名の面色は歡喜と滿悦に輝いて居た

◎趙子家族歸城

東京に滯在中の趙重應子夫人令孃は同…

◎七日目取組

(東京特電)

逆鉾（一）湊　八甲山
大（一）東　黑潮川
岩木山（釋）迦嶽　宇都宮
大鳴門（射）水川　鬼鹿毛
御西山（駒）泉　綾川
紅葉（清）瀬川　大戸平
大門岩（宮城山）兩國
大潮（若湊）千葉崎
栃木山　矢筈山

中入後

阿久津川（友の浦）達ノ矢
大の高（小牛田山）土州山
源氏山（大の里）常の花
阿蘇嶽（白岩）三杉磯
大錦　對馬洋
藤の川　鳳

◎務山師古稀内祝會

京城の杏林の麒麟たる務山翁は本年古稀の齡に達せるに就き…有志者は十八日午前十時より…

演藝

▲壽座　五の替り　時代家一行十七日より藝題…結びの神と連鎖劇俠勇者▲…

下關期米特電

寄付	三九、九〇	三四、八四
前場	三四、九一	三四、二五
高値	三四、八〇	三四、一三
安値	三四、九一	三四、二六

期米	三一二、〇〇	三二一、八〇
新株	二九三、〇〇	二九一、四〇
製糖	一二三、九〇	一二三、〇〇
新株	九一、一〇	九〇、九〇

大阪株式	三三八、七〇	三三八、七〇
宇治水電	二三九、四〇	二三八、…

神戸期米特電　十七日　寄付　前場　三三九五　三四、二〇　後場　三六三、九〇　三六七、〇〇

大阪屋號　電話六四番　振替京城二五七三番

京日案内　一回前金一回前金 …　▲御報參上 ▲本町二丁目 祥雲堂　◎古本熱心高價買入 是非御試賣を乞 電話三一九五番

電話及代書要具一切　但し病氣歸國に付代書營業譲渡したし　南大門通三丁目(青木堂前) 森代書所

◎商店向求貸家　但市内目抜の場所　本町二丁目 松尾旅館内 松澤へ

測量設計製圖請負　土木建築、鑛山、水利、鐵道、水力電氣、開田等　京城大和町 京城工務所　電話一〇三

内外勤社員採用　希望者は履歴書持參午前來店　京城黄金町一ノ八五 帝國生命保險株式會社支店　電話五五七

鍼按灸開業　龍山漢江通社宅十號ノ四　長崎及び東京盲學校卒業生 横枕五郎

外交的事務員募集　希望者履歴書送れ採否通知す　北米倉町 朝鮮興信所

狂犬病豫防注射及診斷　京城明治町二丁目三十二番地　京城狂犬病豫防注射院

書生及看護婦募集　京城長谷川町七九電話六七五番　松岡醫院

看護婦至急入用　希望者は本人直接御來院を乞ふ　京城明治町 胃腸病院

最新刊　日蓮聖人の法色讀史　價四十錢　國語讀本の説明　定價壹圓二十錢　送料十二錢

シベーレン 脳病良藥　醫學博士岡田先生證明　弘濟藥院　東京銀座

せきずい　病に効能正しき良藥あり御照會あれ詳報す　高砂屋商店

育兒必要 保壽圓 兒童を健全にす　癇と虫氣を治し　小兒良藥　效能　夜なき、氣みじか、乳あまし、寢あせ、氣ふさぎ、物おそれ、大べんあをく又通せず、色あをじろく手足やせ、たべものすゝみ又進まず、かべ土せん香を好むなど、子供の諸病に最良劑　ウサギ印 商標注意　(一個 拾錢、廿錢、五拾錢、壹圓)　大阪市堂島元蜆橋 本舖 高橋盛大堂本店　同心齋橋筋博勞町 發賣 高橋盛大堂分店　東京市神田柳町 同 高橋盛大堂出張所　◎到る處の藥店にて販賣す

◎ボーラ　賣却　◎ウオシントン喞筒　但シリンダ徑參吋ヨリ拾吋迄ノモノ　右中古品格安賣却仕度御希望ノ方ハ御照會乞フ　京城南大門通五丁目 菱五商會　電話一六二七番

(定價) 高麗特效藥 人參エキス　朝鮮總督府中央試驗所の試驗を經た成る程品質が優良な譯だネ　春は病氣の發芽期です　發賣元 廣岡北陸堂人蔘部　製劑元　大賣捌元 明治屋京城支店 釜山 福榮商會　(大正七年十二月)

謹告　本社及當支部は有價證券割賦販賣業法に依り四月二十六日付を以て關東廳の許可相受候に付將來一層の御愛顧を被下營業仕候條倍舊の御援助相願度此段謹告仕候也　大藏省免許(明治四十年創立)　營業科目　帝國公債月賦販賣　一般金錢貸附　有價證券現物賣買　帝國公債株式會社滿洲支部　支部長 杉井彦太郎　大連市西公園町マ區十號地　全國樞要地に支部十七箇所代理店一千數百箇所あり

滋養糖 大印　DOGS BRAND NURTLOGEN　弘田博士外五博士實驗推薦　各醫科大學各專門學校御用　病兒虚弱兒に用ひて著しく營養を増進し体質を強健肥大ならしむる育兒界の名品　東京神田和光堂　説明書進呈　各藥店販賣

期米賣買必勝會　『米價が上るか下るか』は誰でも考へて居るが扨て相場で金儲をしたいが大金を懸けるは嫌や定期經驗が無い、斯う云ふ人は少資本會へ加入せられよ然して男一匹にならねばならぬ加入金壹口貳拾圓(動産代用苦カラズ)會則進呈　大阪北區樋上町七十九番地　合資會社堂島信託所

みだれ咲き

第卅一回 島山碧波作 森田久畫

悪魔の運轉手牧野は、主家を蹴つて黒い雲を拂ひ退け、令嬢操子を始め其の弟龍雄をして安らかな日を送らせるは、邸内に居る多くの悪人を殺してしまはねばならぬと思つた、口頭から何事に依らず微細の點にまで想ひを廻らす彼れも、令嬢が常ならぬ様子を眺めたばかりか、身を護る唯一の武器として短銃の購求を託されるさへ早くも腹中の消息を看破して執事の松川を亡き者にしようと思つたが、松川の爲めに恐ろしい事件を受けたのは火を睹るよりも明かである。山中家の平和のために松川を第一番に亡き者にしようと決心した。

『此刀で睡眠を一抉りしたら夫ッ切りだらう』

親が讓りの陸奥守包保！鞘拂をしてキッと尖先から鍔元へ眼を落すと短刀ながらも名匠の鍛へた業物は、血に餓ゑて居るのか冴れ刃が凄く光る。

『ウム……』

物凄い笑を浮かべた牧野は、奥座敷をグッと睨んで勢ひ好く起ち上つた、彼れは操子の身を思ふの餘り、主人の兄の出宮の恥や鞠子夫人の事を忘れてしまつて松川のみを第一番に亡き者にしようと覺悟した。

『見やがれ畜生ッ……』

出宮と心を合せて山中家を横領しようと云ふ松川、牧野は前後の思慮と分別を缺いで今しも奥座敷へ踊り込まうとした。

『牧野、御前血相變へて何處へ行かうとするのです』

彼れが自分の部屋を出ようとした時、いそいそとして入つて來た操子が聲を掛けた。

『おうお嬢様ッ』

彼れは些か拍子抜けをして其の場へ坐り。

『一寸松川の處へ參るのでございます』

『松川の處へ？』

『はい……』何氣無く答へて居るが、彼れの眼使は常に無く荒かつた。

『松川は留守ですよ』

『留守で御座いますつて？』

『え、伯父様が何か私に用が在るから來いと云ふ電話でしたが、私が身體の具合が悪いと云つて、お斷りをしたら松川を電話口へ呼び出して何か云つて居らつしやつたのよ、左様したら松川は慌てゝ出て行きました』

『左様でございますか、然しお嬢様は何の御用で此處へ出らつしやいました』

牧野は多くの召使達が自分と令嬢の間に對し、兎角の風評を立てゝをるのに令嬢自ら出掛けて來たのを少からず訝いたのであつた。

『實はお前に頼んだことを止めにしようと思つて夫れを云ひに來たのですわ』

斯うは云ふもの、まだ他に何か用事がありさうであつた。

『あゝ左様で御座いますか、仰しやつたやうな品物が御不用になりますれば夫れに越したことは御座いません』

『實は、私もいろいろと考へてあんな物を頼んだのですが、人と云ふ者は一度より死ぬことは無いのだから高々一の場合には舌でも噛んで婦人の踏むべき道を進まうと決心したのですわ』

『左様で御座いますか、然しお嬢様お家を紊亂する悪い奴も近々どうにかなりますから、決して御心配なさいますな』

『牧野、お前の決心も熟く判つて居ますが、血氣の勇に逸つては不可いことよ、何を云ふにも私達が力頼みにするのはお前一人なんだからね』

夫れと赤裸々に意見はせぬが、どうやら操子は牧野が心の内を讀んだらしい、否牧野が短刀の鞘拂をして斬れ味を試して居たのを眺めたらしい。

▲朝鮮發賣元▼ 松の實羊羹 ▲名産 明治屋▼

『はい……はい……』

彼れは始めて血氣に逸つて、其幹を倒さずに枝葉を枯らさうとして居る事に氣が付いた、すると其邊に氣を配つて聲を潜めた操子は

『牧野、お前後生だから私を連れて逃げて呉れないか』と、恥かしさうに顫な彼の女の面は朱を注いで居た。

◎春から夏への洋服は 仕立は上品色は鼠が流行る

春から夏へかけての洋服の流行スタイルはどんなものかと調べて見ると一時胴を細く括つて成るべく丈の短いのを好んでゐた背廣の型が近來は大分緩やかになつて來た傾きである、前のボタンも一つ又は二つであつたのが此節では上品向の紳士としてはどうしても三つといふことになつた一體二つボタンはアメリカ等では勞働者が着る著物になつてゐるのである、夫れを日本では

◎先年來 粹だとか云つて二つ釦ですましてゐたものだ、夫れから襟の形も先が細くなつて開きも狹くくと行くやうになつた、夫に丈も相變らず餘り長い方ではないチョッキは大した相違はないが、襟は折るやうになつてゐる、夫からズボンの裾は折返して付けない又日本人に一番便利がられるモーニングの型は、背廣に準じて胴の括りも緩やかに

◎釦の數 も三つ位前のクリは去年あたりから少し圓味をもつて來た、襟は大概背廣と同じに劍先型にして先を下げる、かくしは上着の胸表に附けるのが十人中五人までの好みである、次にフロックコートは差して變りはないオーバーは去年中ラグラン型が流行したが今年は並の型に復した、中には帶附のオーバーを好む人もあるコート地質は總じて背廣は薄羅紗、メトン、サージ、色合は

◎鼠系統 に小格子か、縞つた、縞の三つ揃ひである、モーニングは黒メルトン、オーバーは薄地スコッチ、アルゼ等である

新刊紹介

▼露西亜評論（五月號） 一百年來の大改革（大庭柯公）世界文明と露西亜の特色（今井政吉）最近の西伯利（播磨楢吉）西伯利の女（大泉黒石）星の世界へ（井上芳子）等あり（定價卅錢發行所東京市赤坂丹後町方道文館）

▼經濟資料（五月號） 南支那に於ける鐵道計畫、南滿と鐵道經營、米國の勞働問題と生活費等主なる記事なり（定價廿五錢發行所東京市麹町區有樂町一の一東亜經濟調査局）

▲愛讀者様へ私が申しましたのは京城に娛樂の無い事でローレライを聞かうと云ふのではありません目下暇なのですから何時でも聞かせて戴きます！よ淨江の方なら更に結構です（馬淵子）

▲京城市民諸君に告ぐ 我が朝鮮と露西亞とは隣しある此際日露の親善のため之に努力する研究なるものを作つては如何に最後に一寸申上げておくが云ふ迄もなく何等政治的意味を有する者にあらず唯露西亞に對する眞實なる理解と攻究とを目的としその必要に應ずる處にある（ハケー生）

▲我が親愛の弟よ許せ！何故し候ふ此四五日以外より毎夜日七時に出迎致し呉れ候ふ弟食と共に一諸する様に相成り申候不相變中々苦勞も是に御座候也（菊館河元町三丁目木公生）

▲早稻田の攻者方劍術部所在者の御知の方は恐れ入り候へども御報知被下度候（一學生）

▲美醜問題につき紙上を以て主の論に甚だ合意に迷惑して置いたが何等反省なさず却つて日が經るに從ひ勝手な事を言ふ

▲馬鹿ゞ様ローレライ、カルメン？幼稚の調でも唱いませうか勿論環さんの様ですか、ソプラノは出ないけれど信子さんの様なさびのある聲はありませんけれど（橘）

▲蠟燭の製造方法器具原料の購入先又は右蠟燭製造に關する好參考書御存じの御方はおりませんか（和多生）

◎自動車學校學生募集 東京府下羽田日本自動車學校は來る六月一日より第二十二期生五十名募集中なり修業期間二ヶ月にして卒業後就職の便あり尚同校發刊の飛行機講義錄は斯界に對する本邦唯一の研究書たり詳細は同校宛規則書申込むべしと

◎痳病妙藥 播州明石町の藥封家横山家の製劑痳病藥は斯病に效驗著しく信頼者多く貧困者には施藥すると云ふ

◎關釜貨物狀況

[illegible]増加し收入金に在りては前年度三[illegible]四七萬九圓より五一五、七四圓に躍[illegible]に及び發送に在りては中細貨物は昔日の如く殺到せず而も天候順調にして定期貨物兩様の既に細腹を[illegible]らさりし木材包裝品等の復活に依り如上の成績を收むるに至れり而して今後の狀勢は移出貨物は穀[illegible]月來に於ける當地精米相場頂上品の三十五圓臺を低下し漸次擡頭の氣勢を生じたるを機會に思惑筋[illegible]揚期に反し前年の一、五六七噸に比し僅かに一九二噸を增加し一、七九九圓なり而も運賃收入に在り[illegible]き好況に依る後者は二四一噸一、一〇九圓にして前年の一五四噸八〇八圓に比し八七噸一、二〇一圓[illegible]然積を大部分とし四一四噸三、二九七圓にして前年の四二八噸三、五二一圓に比し伯仲せり到着貨物[illegible]引續き入津旺盛にして前年の七〇噸に五噸より三三〇噸に跳躍し一八五噸の增加なり果物及野[illegible]

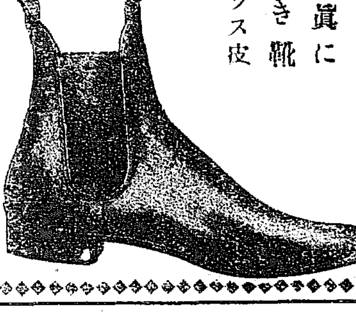
内科 眼科 小兒科

京城黄金町三丁目赤門通（電車停留所前） 本田醫院 院長 本田建義

附屬 京城肛門病特疾療院

入院隨意 肛門病諸般特殊特種注射根治療法解説書入用の方要郵券十二錢

電話二四四三番 振替京城三三八番



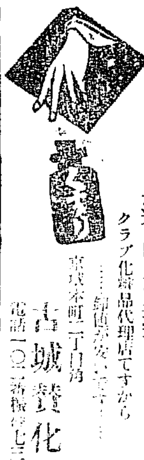
優秀堅牢眞に履具合好き靴

△極上ボックス皮
甲 十一圓五十錢
乙 十圓五十錢
丙 九圓五十錢

△舶來キット皮
甲 十六圓五十錢
乙 十五圓五十錢
丙 十四圓五十錢

編上及深ゴム同ネダン短靴は一圓下り
地方よりの御注文は御一報の寸法書ち圖解
付尚既製品御入用の場合は靴の種類袋の寸數其他詳細
御通知願上候

京城大和通 京城日報社代理部
電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇番



純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから……御便宜よろしい……
京城本町二丁目角 吉城堂化堂
電話一〇二番 振替七二七番

御旅行の時 美乳 必ずお忘れないやうに！

なぜ美乳が旅行には殊に重寶だと評判になつてゐるかと申しますと第一に三分間化粧の別名もある位で何時何處でゞも簡單にすぐお顔の整ひ得らるゝ點、第二に幾ら旅先きの水質が變つても洗面のあと或は湯上りに此の一滴を塗けると斷じて膚荒れのせぬ點、第三は美乳の根本使命たる生地から色を白く美しく從つて旅行の愉快と高尚な美の快感が一致する點であります、近頃の御婦人は誰樣でも品外出の提袋の中に美乳を御用意なさる事が流行の如になりました

僅か一瓶で美人となる 試驗はタッタ一週間！

純白美乳一瓶參拾錢 美乳一瓶貳拾五錢……

本舗 大阪白粉本店 矢野芳香園

光榮ある御化粧料 三十六種の内

桃谷研究試驗所創製

美顔水

白粉の使ひ方と垢ヌケ

間違なくお化粧の困難を取去り、すらすらと勞なく、濃化粧なり、薄化粧なり、思ふ通りに氣持よく美しくお化粧なさるには、美顔水で白粉を溶き延ばしてお使ひなさるのが一番確かな良い方法である事は、大多數の方が御承知の事でございます。美顔水の此の力は全く外に例がないと申しても過言で無いと桃谷研究試驗所では確く信じて皆樣にお薦め申して居ります

事實 どのやうにお化粧のしにくい方でも、美顔水で白粉を溶き延ばして御覽なさいまし、それこそ全く思ひの外で、「化粧困難」といふ事はすつかり忘れて終ひます。白粉は何の苦もなくすらすらと良くのびて思ふ通りに附き、それに何とも言へぬ美しい光澤が添ひますから、その上品な高尚なお化粧榮には又格別でございます。それからよく

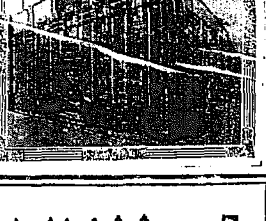
垢ヌケした方と言はれる方があるものですが、垢ヌケして美しくなるのには美顔水を常用するのが一番よいと云ふ事も、大多數の方が御承知の事でございます。これは美顔水には桃谷研究試驗所で完成致しました或る美容成分が入つて居りますので、之れが皮膚の新陳代謝を活潑にして、顔の生地が毎も活々と、新しく清く保たれる作用を致すのでございます。美顔水の此の「垢ヌケ」の作用は白粉のトキ水としての作用と共に、またと外に無いものと言はれ益々盛に世の御愛用を蒙る種となつて居ります。この外に美顔水には

◇チバリ氣なしに荒れを防ぐ作用が備はつて居りますので、チバリ氣をお好みにならぬ方々によく、また

◇にきび吹出物等でお困りの方には別に「にきびとり美顔水」が御座いますから其れをお薦め申上げます

美顔白粉、美顔水、美顔ユーマー、白色美顔水
美顔洗粉、美顔石鹸、美顔クリーム、肌色美顔水

發賣元 桃谷順天館



美顔化粧料三十六種を創製したる 桃谷研究試驗所

▲所長 藥學士 桃谷政次郎
▲技師 理學士 西澤勇志智
▲同 醫學士
▲同 藥學士 米倉昌
▲同 千葉醫學士 小和田兼次郎
▲同 同 藥學士 皆川鉄助
▲顧問 藥學博士 丹波敬三氏
醫學博士 山本治二氏